

第 3 章 アンケート調査結果

1 アンケート調査方法

(1) 対象者

- ア 市立小学校5年生・中学校2年生の児童・生徒及びその保護者
- イ 市立学校外の小学校5年生・中学校2年生の児童・生徒及びその保護者
- ウ 市立小学校・中学校教員

(2) 実施方法

各学校を通じて対象者（前項ア、ウ）にアンケート実施の案内を配布（紙または電子）、対象者はLoGoフォームでアンケート回答
 市立学校外の児童・生徒（前項イ）は、郵送で案内配布
 市立学校在籍者（前項ア）には、すぐる（調布市学校安全・安心情報配信システム）で締め切り日等を追加で案内

(3) アンケート実施期間

令和6年9月2日（月）から10月7日（月）まで

2 アンケート回収率

(1) アンケート回収率

ア 児童・生徒及びその保護者

対象者	対象者件数※	回答件数	回答率
小学校5年生	2,011	1,271	63.2%
中学校2年生	1,848	649	35.1%
うち学校選択制利用者	228	78	34.2%
計	3,859	1,920	49.8%

※ 対象者件数は、令和6年9月2日時点（2学期始業式時点）に市立学校に在籍している児童・生徒数と郵送で案内を発送した市立学校外に在籍する児童・生徒数の合計です。

イ 市立学校教員

対象者	対象者件数	回答件数	回答率
小学校教員	629	117	18.6%
中学校教員	268	82	30.6%
計	897	199	22.2%

3 アンケート調査結果の見方

(1) 集計方法

- 小学校5年生及び小・中学校教員の調査結果については「単純集計」を行い、中学校2年生の調査結果については、中学校入学の際に学校選択制を利用した者と利用していない者で区分して集計した「クロス集計」を行っています。
- アンケート項目の性質上、調布市立学校外に在籍している生徒を学校選択制の利用有無とは別に集計している項目があります。

(2) 記載方法

- 本文及び図表において、「R6」は今回実施したアンケート調査、「H29」は平成29年度に実施したアンケート調査（平成30年度発行の検証報告書作成時実施）を示しています。
- 本文及び図表において、実際のアンケート調査における設問または選択肢の表記が長いものについては、一部表記を簡略化しています。

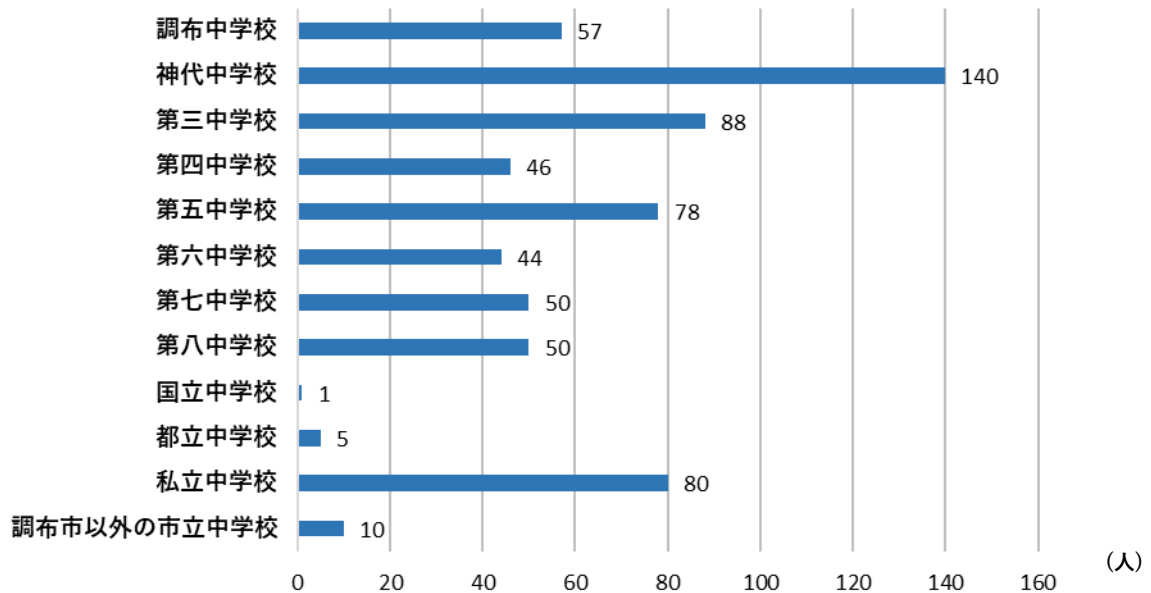
(3) 数値の端数処理方法

- 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合や、内訳の合計が、表示されている値と一致しない場合があります。
- 上記比率の分母となる回答総数は、「n」として掲載しています。

4 中学校2年生及びその保護者

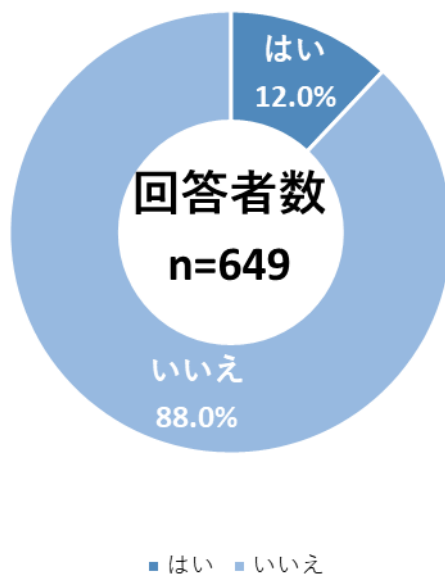
(1) 回答者の在籍と学校選択制利用状況

Q 今在籍している学校はどこですか。



Q 学校選択制を利用しましたか。

学校選択制利用者数



学校選択制利用者の進学先
及び進学者数

中学校	進学者数(人)
調布中学校	10
神代中学校	3
第三中学校	4
第四中学校	5
第五中学校	8
第六中学校	10
第七中学校	8
第八中学校	21
国立中学校	0
都立中学校	0
私立中学校	8
調布市以外の市立中学校	1
合計	78

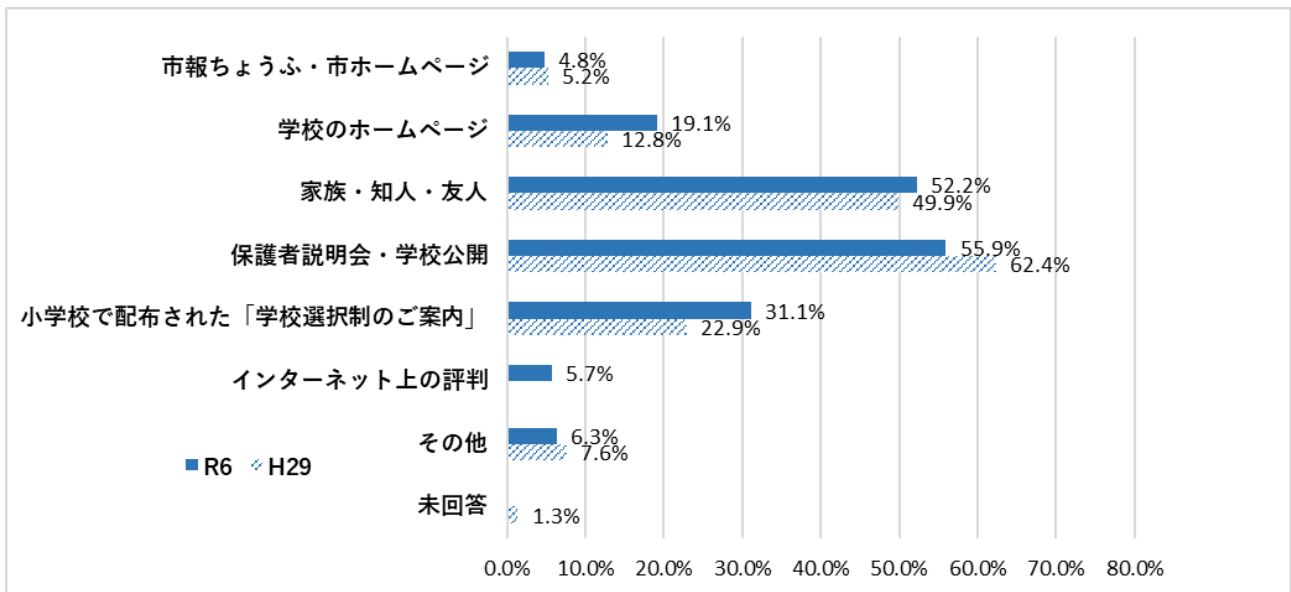
📍 調布市立学校外(私立学校等)へ進学を希望する場合でも、学校選択制を利用することができます。

(2) 進学時の情報取得方法

Q 学校を決めるにあたり、どのような方法で学校の情報を得ましたか。（複数回答可）

- ・「保護者説明会・学校公開」が55.9%と最も高く、次いで「家族・知人・友人」が高くなっています。
- ・H29 調査と比較して、「小学校で配布された「学校選択制のご案内」」が8.2ポイント増加し、「学校のホームページ」が6.3ポイント増加しています。

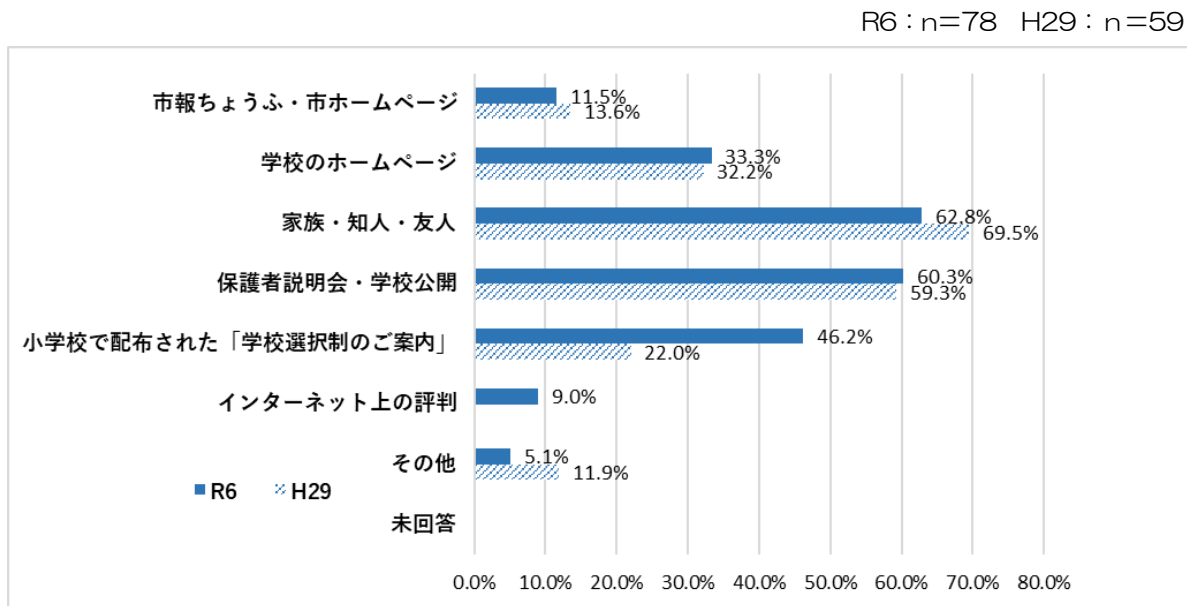
R6：n=649 H29：n=593



※「インターネット上の評判」はR6新設

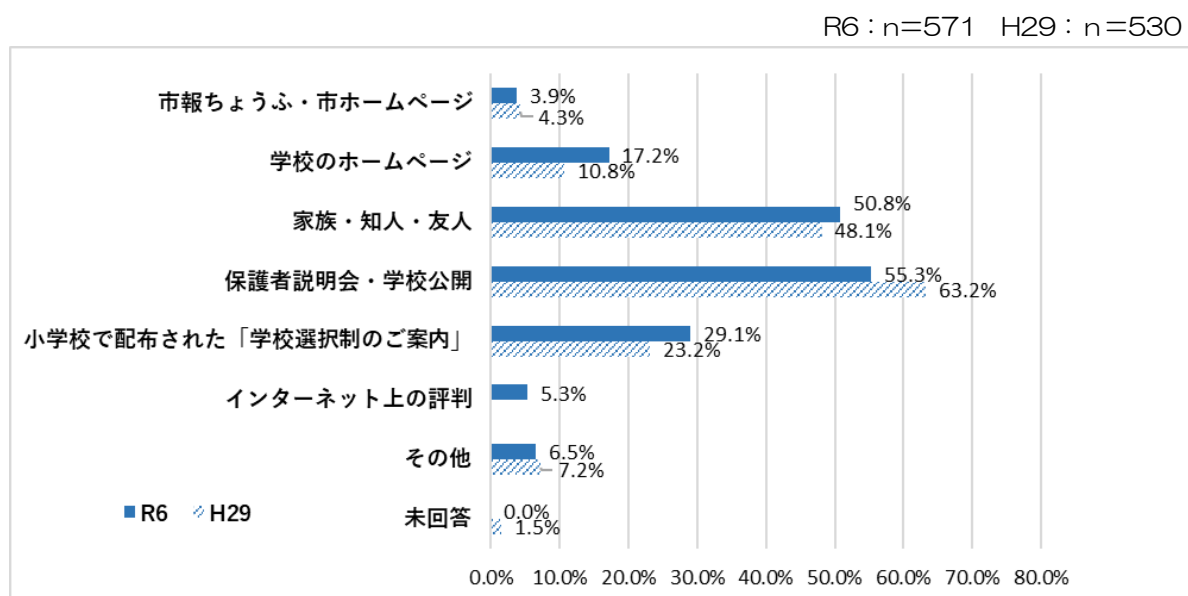
選択制利用あり

- ・「家族・知人・友人」が62.8%と最も高く、次いで「保護者説明会・学校公開」が高くなっています。
- ・例年9月に小学校で配布している「学校選択制の御案内」の割合がH29調査に比べ24.2ポイント増加しています。



選択制利用なし

- ・「保護者説明会・学校公開」が55.3%と最も高く、次いで「家族・知人・友人」が高くなっています。
- ・「学校のホームページ」を参考に行っている割合がH29調査に比べ6.4ポイント増加しています。

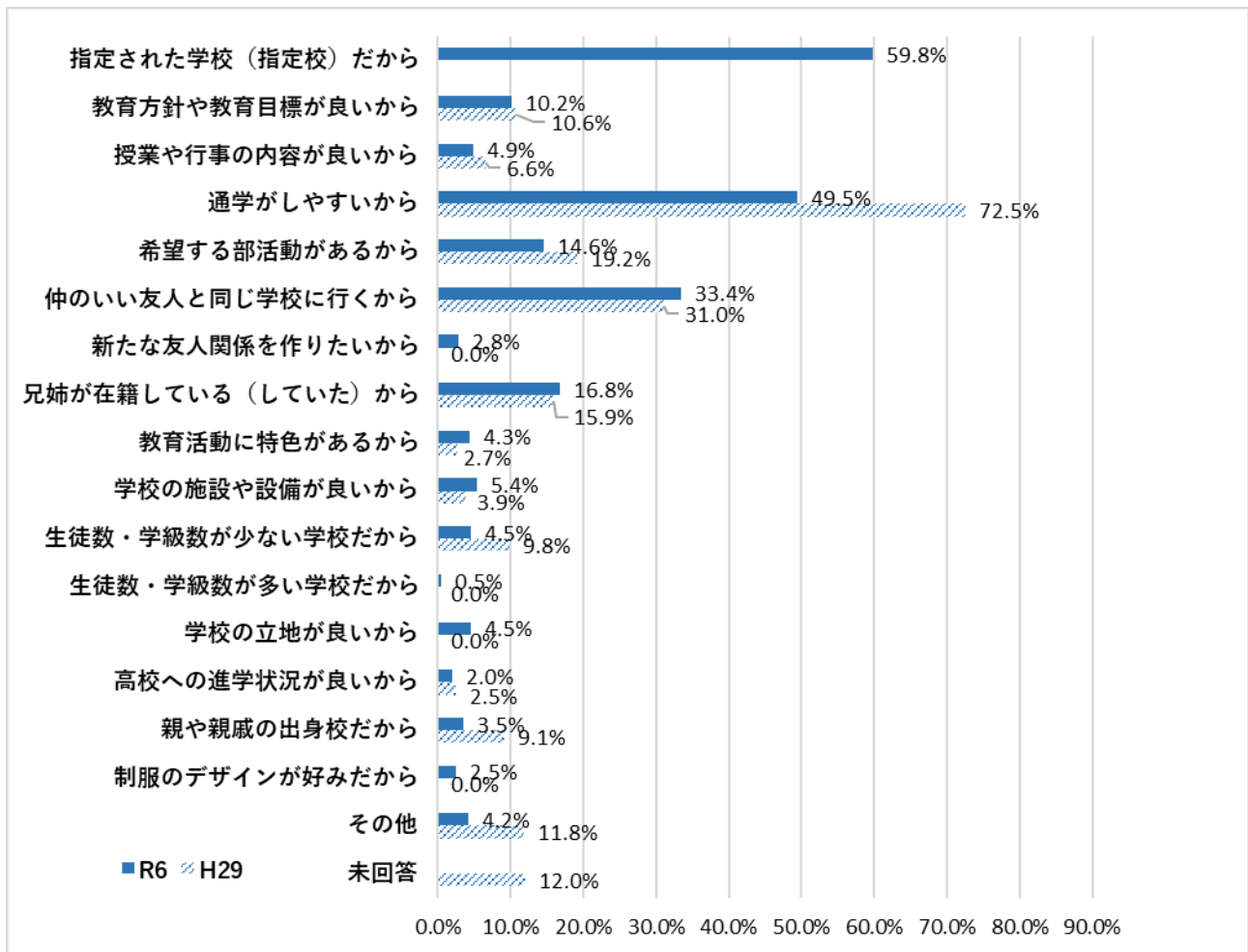


(3) 学校選択理由

Q どのような理由で中学校を選びましたか。（3 つまで回答可）

・「指定された学校（指定校）だから」が59.8%と最も高く、次いで「通学がしやすいから」が高くなっています。

R6：n=649 H29：n=593



※「指定された学校（指定校）だから」「学校の立地がいいから」「制服のデザインが好みだから」はR6 新設。

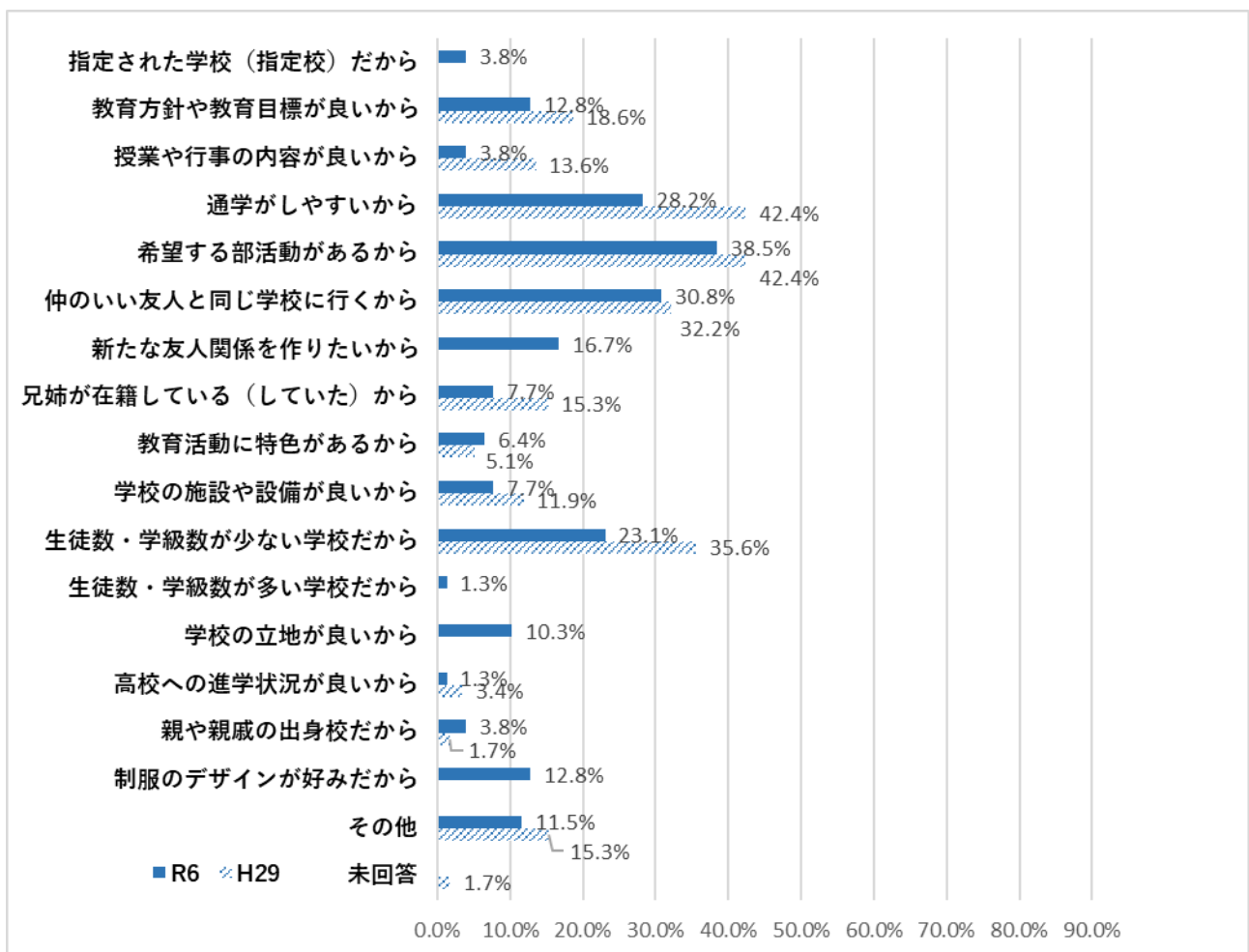
※「仲のいい友人と同じ学校に行くから」「新たな友人関係を作りたいから」はH29の選択項目「友人関係」を分割。「生徒数・学級数が多い学校だから」「生徒数・学級数が少ない学校だから」はH29の選択項目「学校の規模(学級数・生徒数)」を分割。

🔗 実際に希望票を提出する際には理由を問いません。

選択制利用あり

- ・「希望する部活動があるから」が38.5%と最も高く、部活動を重視した選択が行われていることがわかります。これはH29調査時と同様です。
- ・「仲のいい友人と同じ学校に行くから」「新たな友人関係を作りたいから」の合計が47.5%と友人関係を理由に学校を選択している生徒が多くいることがわかります。また、調布市の中学校の学区は、小学校の学区を分割している地域があることから、小学校からの友人関係を維持するための選択が行われていることも推定されます。

R6：n=78 H29：n=59

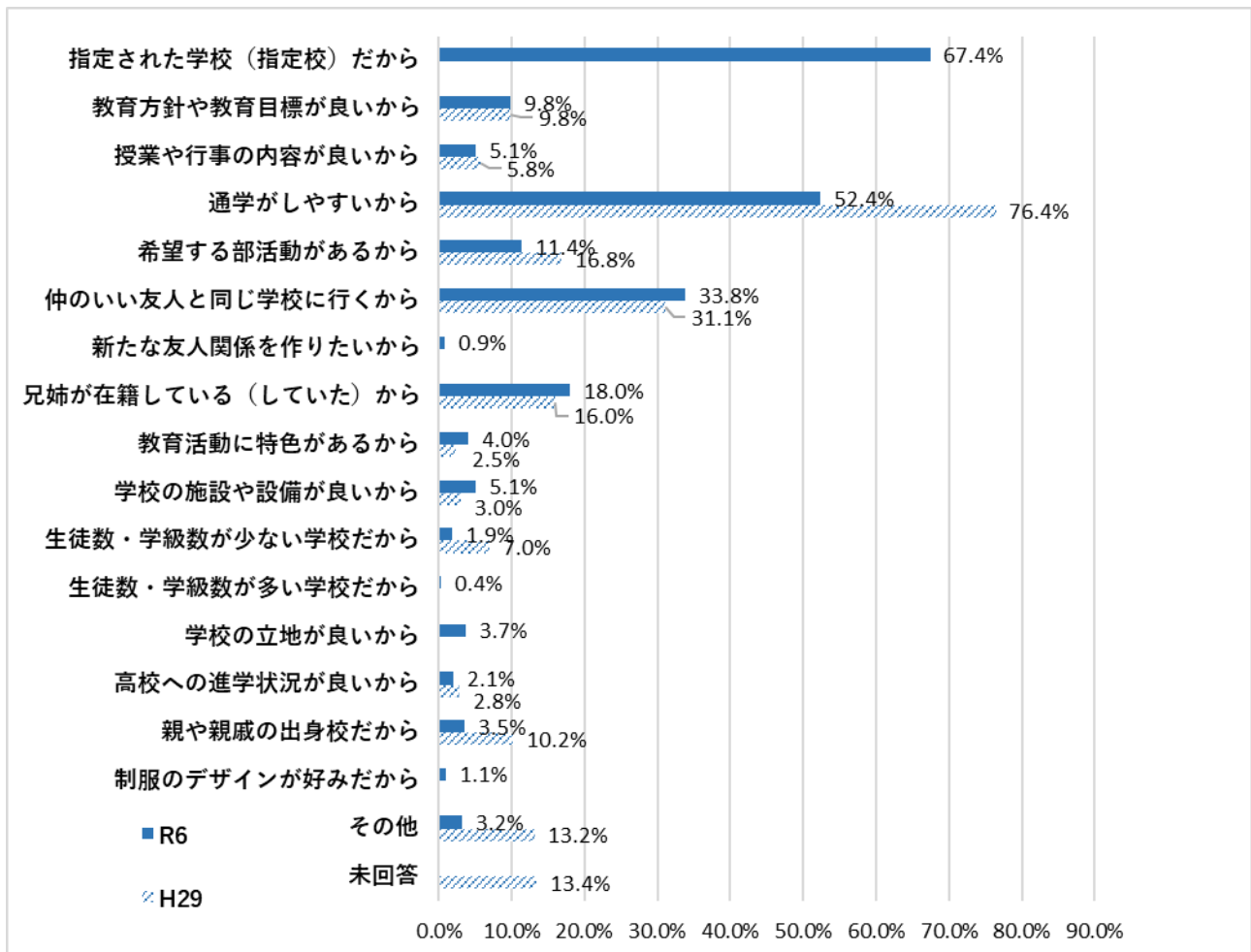


🔗 「指定された学校(指定校)だから」については、入学後に転居する予定があり、転居先の指定校に入学時から通学を希望する場合は、学校選択制度を利用して入学するため、この項目が選ばれています。

選択制利用なし

- ・「指定された学校(指定校)だから」が67.4%と最も高く、次いで「通学がしやすいから」の割合が高くなっています。指定校は基本的に他校よりも住居から近い学校となっているため、学校選択制を利用しない生徒は、学校への通学のしやすさを重視していることがわかります。
- ・次いで「仲のいい友人と同じ学校に行くから」が高いことから、小学校からの友人関係を維持するために指定校への進学を決めている生徒が多いことがわかります。

R6：n=571 H29：n=530

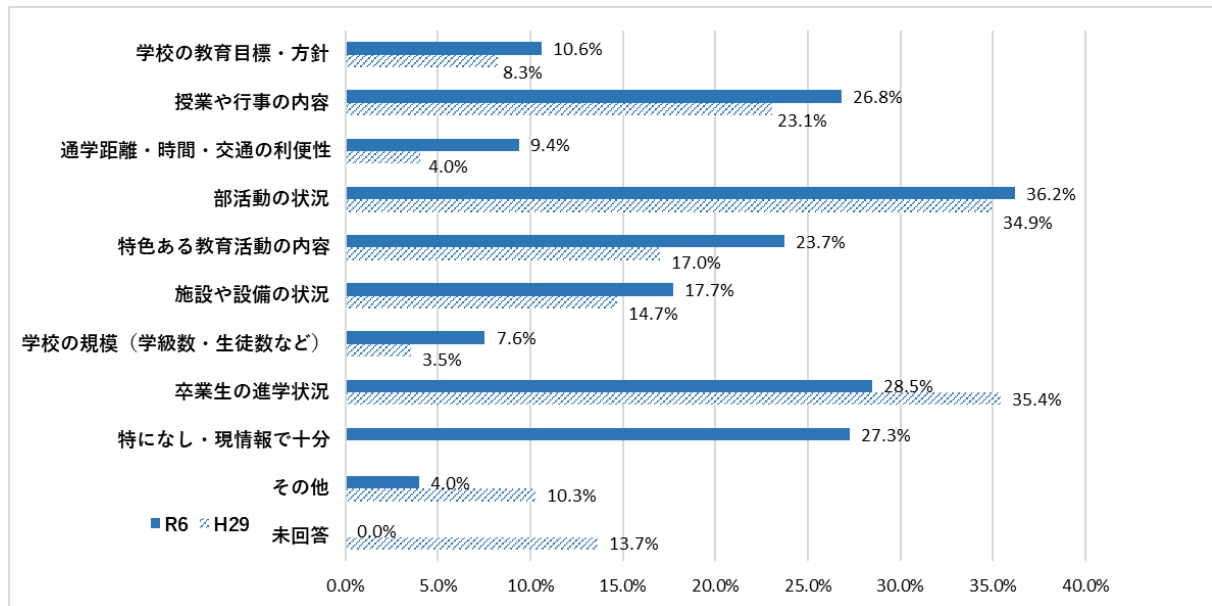


(4) 利用者の求める情報

Q 学校を選択する際に、どの情報をもっとあれば良かったと思いますか。（3 つまで回答可）

- ・選択制利用の有無に関わらず、「部活動の状況」36.2%と最も高く、次いで「卒業生の進学状況」についての情報が求められています。これは、H29 調査の結果と同様です。
- ・約 30%の方が「特になし・現情報で十分」と感じています。

R6：n=649 H29：n=593

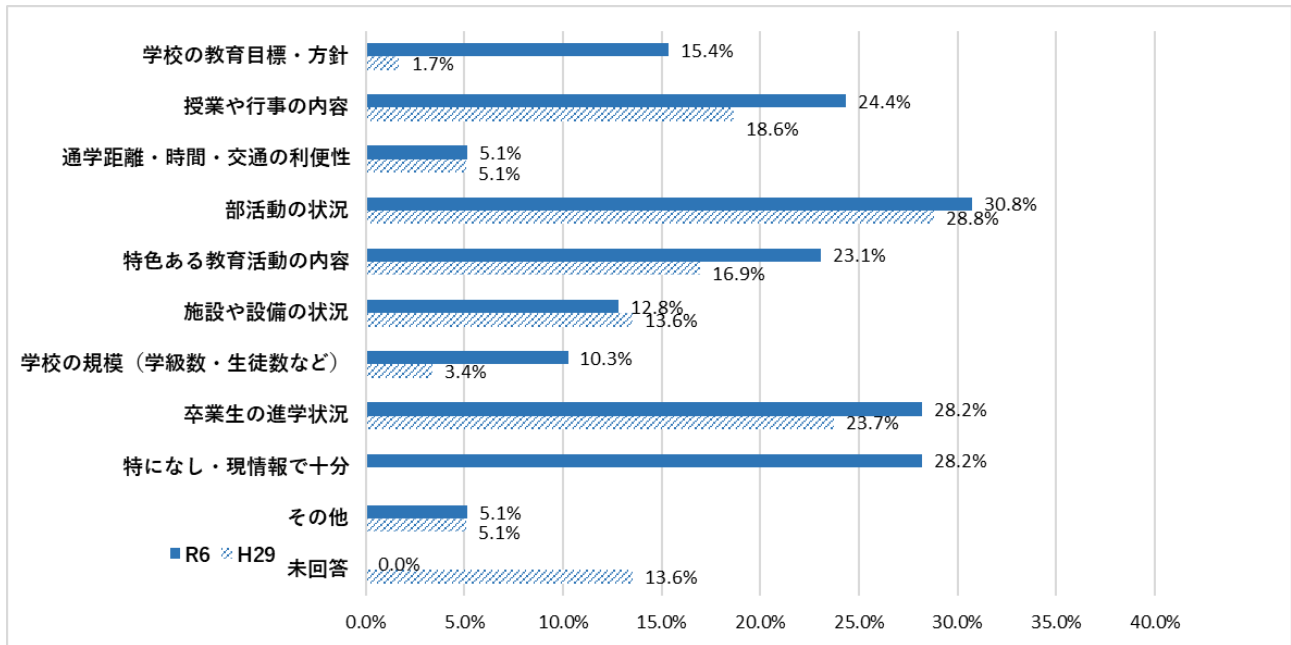


※「特になし・現情報で十分」は R6 新設

選択制利用あり

・「学校の教育目標・方針」「学校の規模(学級数・生徒数など)」の割合は、H29 調査と比べ大幅に増加しており、これらの情報の必要性が求められています。

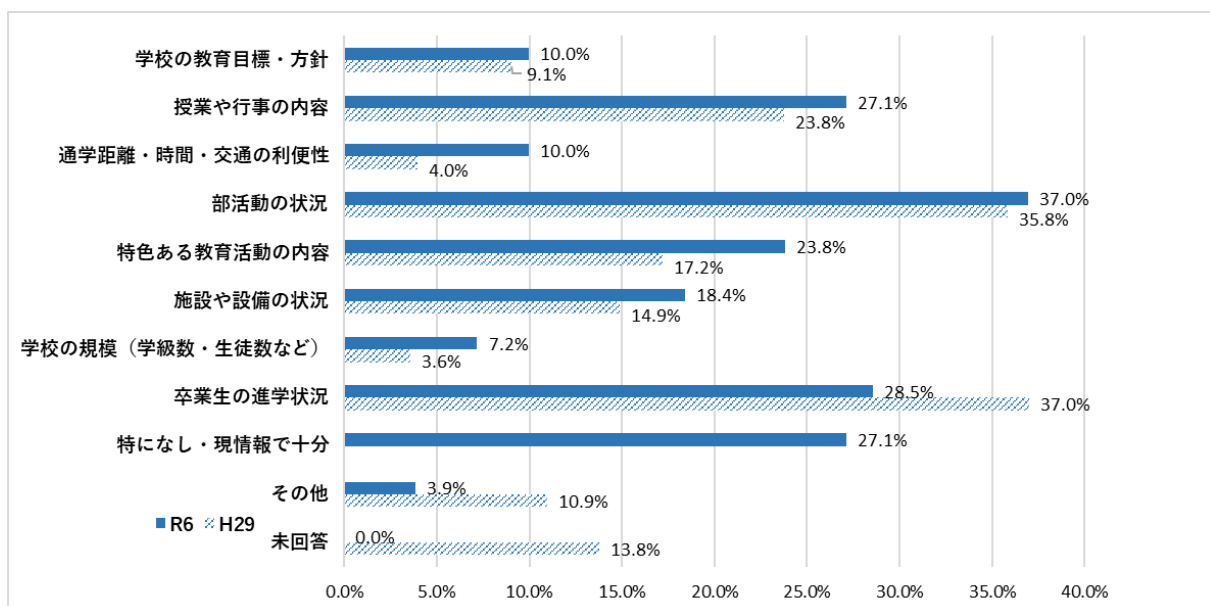
R6 : n=78 H29 : n=59



選択制利用なし

・選択制利用ありに比べ、「通学距離・時間・交通の利便性」の情報を求める割合が高くなっています。

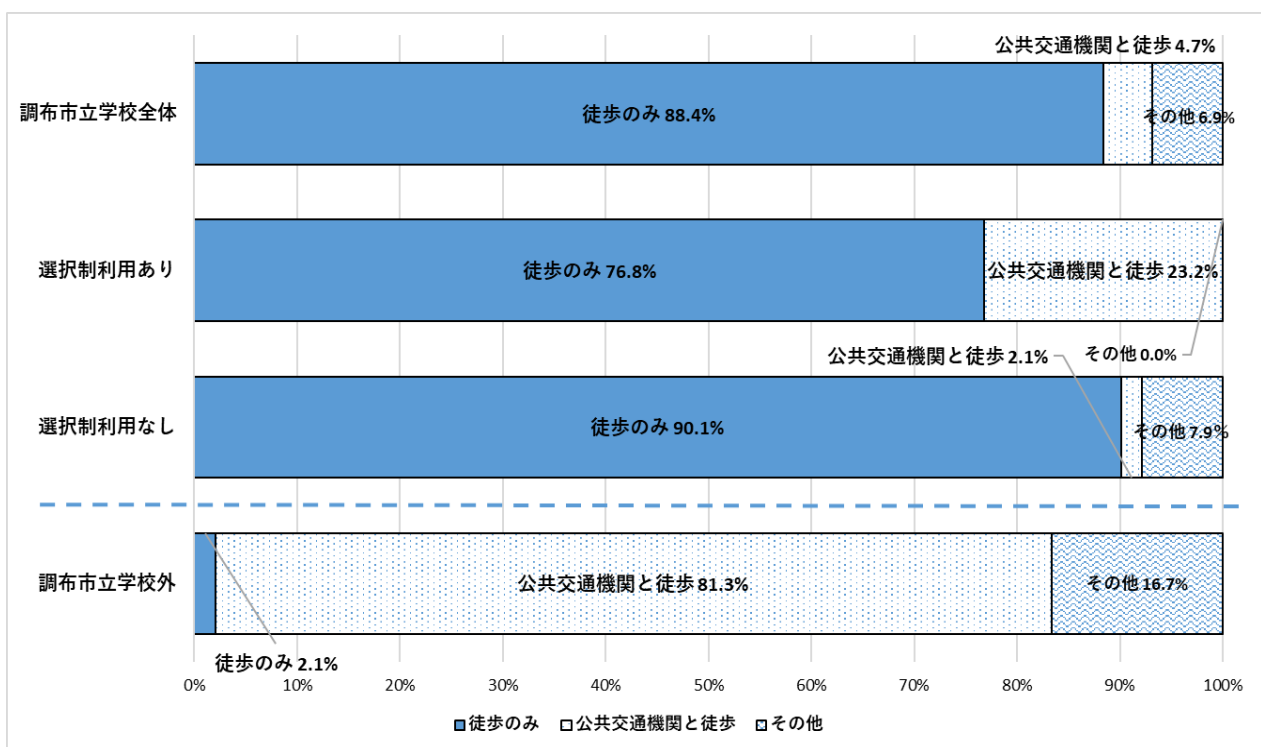
R6 : n=571 H29 : n=530



(5) 通学状況について

Q 現在の通学方法をお答えください。

- ・選択制を利用して入学した生徒でも、多くが「徒歩のみ」で通学していますが、23.2%の生徒が「公共交通機関と徒歩」で通学しています。（選択制利用あり）
- ・90%以上の生徒は「徒歩のみ」で通学しています。（選択制利用なし）
- ・市外の学校へ通学する生徒も多いため、「公共交通機関と徒歩」での通学が大多数を占めています。「その他」についてはスクールバスの利用等も含みます。（調布市立学校外）

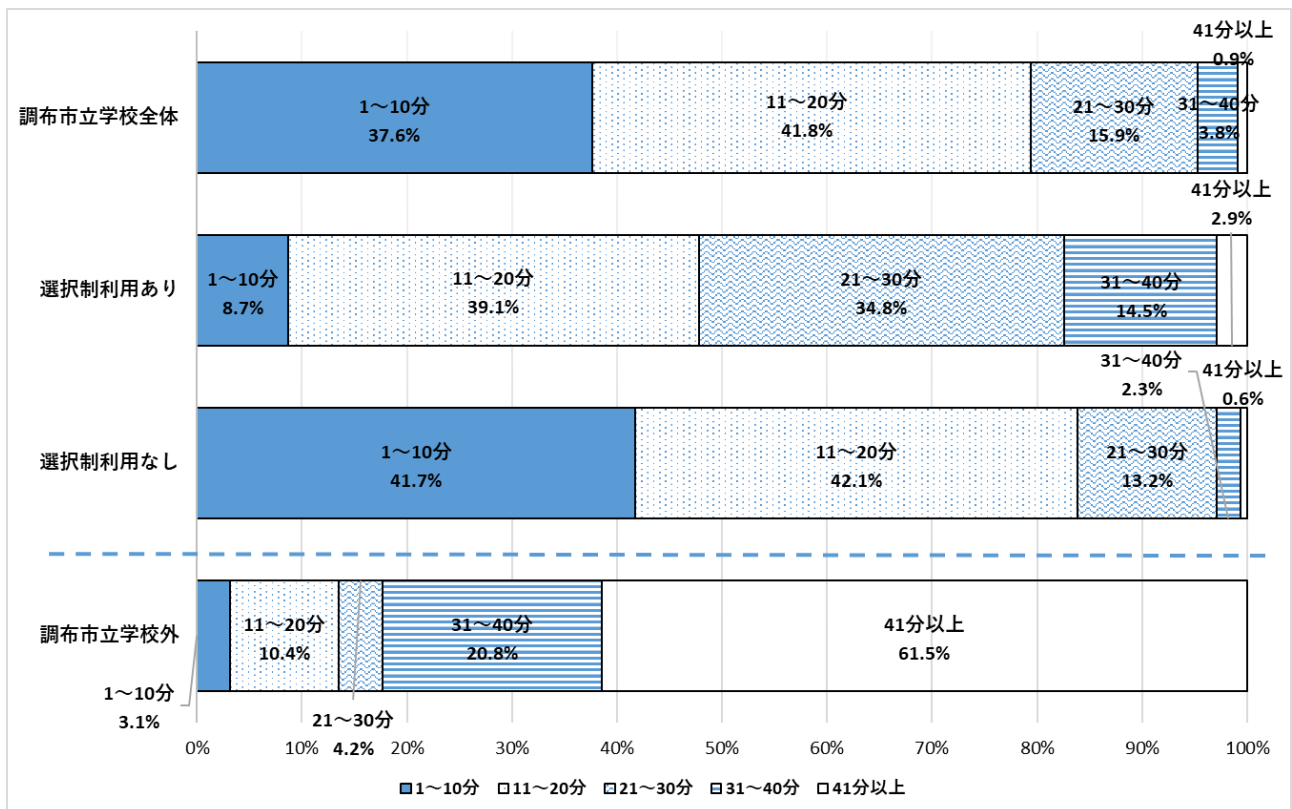


全体 n=553
 選択制利用あり n=69
 選択制利用なし n=484
 調布市立学校外 n=96

㊦ 選択制利用なしの「その他」は自転車通学の生徒です。調布市立学校への通学は原則徒歩または公共交通機関での通学としていますが、指定校へ通学する場合のみ、一部地域については自転車通学を認めている学校があります。

Q 通学にかかる時間（片道）をお答えください。

- ・通学にかかる時間は、「11～20分」が39.1%と最も高く、次いで「21分～30分」が高くなっています。（選択制利用あり）
- ・一方で、選択制の利用により、31分以上かかる生徒が17.4%と、選択制利用なしの場合の3.5%と比較して高くなっています。（選択制利用あり）
- ・「1～10分」が41.7%と最も高く、次いで「11～20分」が高くなっています。（選択制利用なし）
- ・市外への通学が多いことから「41分以上」が61.5%と最も高くなっています。（調布市立学校外）

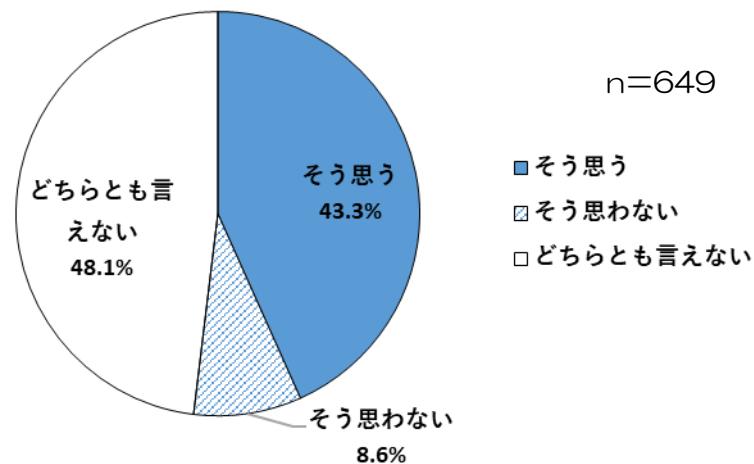


全体 n=649 選択制利用あり n=69
 選択制利用なし n=484 調布市立学校外 n=96

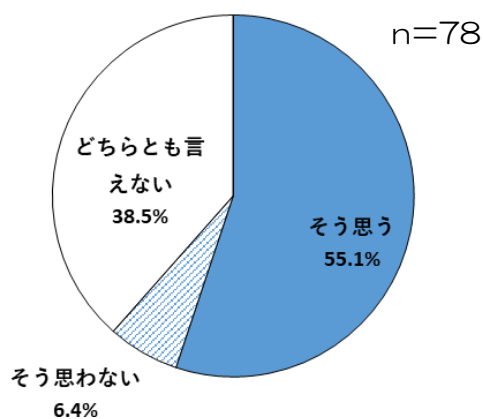
(6) 学校や教育に対する関心

Q 学校選択制により、学校や教育に対する関心や理解が高まっていると感じますか。

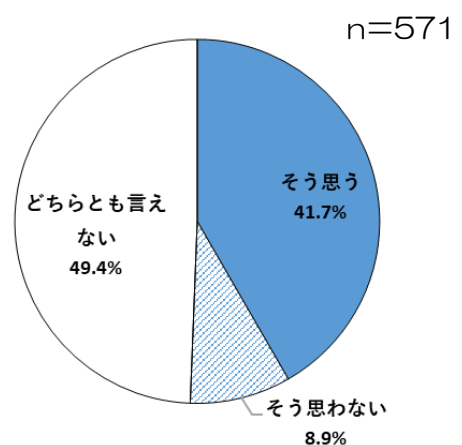
- ・「どちらとも言えない」と回答した割合が48.1%と最も高くなっています。（全体）
- ・「そう思う」が55.1%と最も高く、選択制利用なしの生徒及び保護者に比べ、13.4%高くなっています。（選択制利用あり）
- ・「どちらとも言えない」と回答した割合が49.4%と最も高くなっています。（選択制利用なし）



選択制利用あり



選択制利用なし

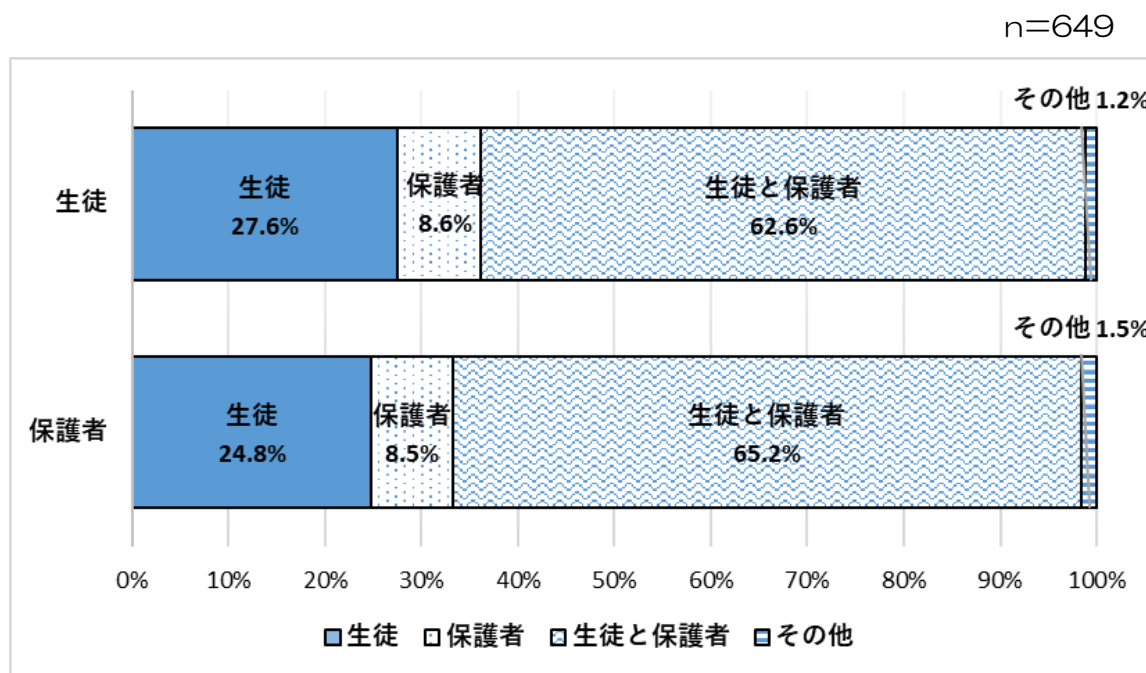


(7) 進学先の決定

Q 入学する中学校はだれが決めましたか。

※生徒と保護者の質問項目をそれぞれ設けています。

- ・「生徒と保護者」の割合が生徒・保護者ともに最も高くなっています。
- ・保護者と生徒の認識に大きな差はみられません。

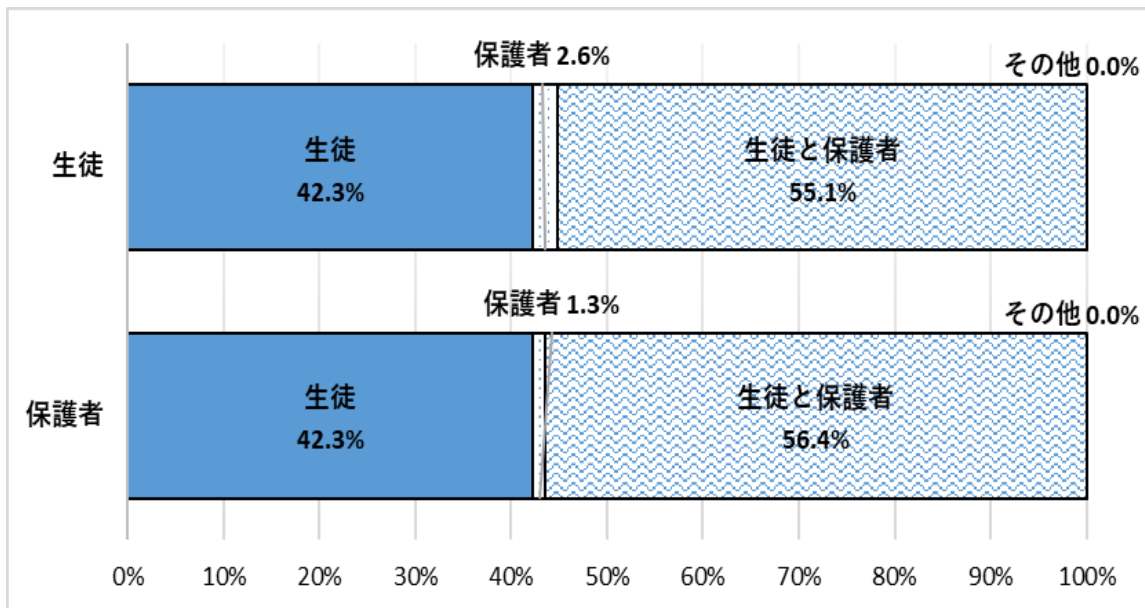


調布市立学校

- ・選択制を利用した生徒と保護者のうち、生徒本人が決めた割合が42.3%であり、選択制を利用しなかった生徒等と比較して、16～20%程度高くなっています。
- ・選択制を利用しなかった生徒と保護者では、保護者が決めた割合が9.5%であり、選択制を利用した生徒等と比較して7%程度高くなっています。

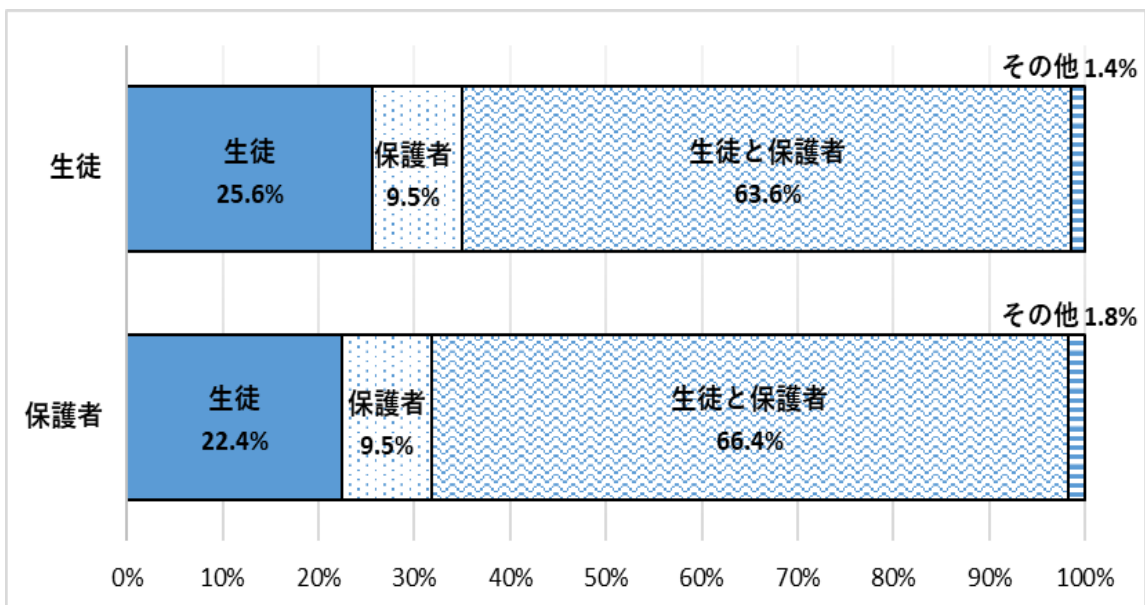
選択制利用あり

n=69



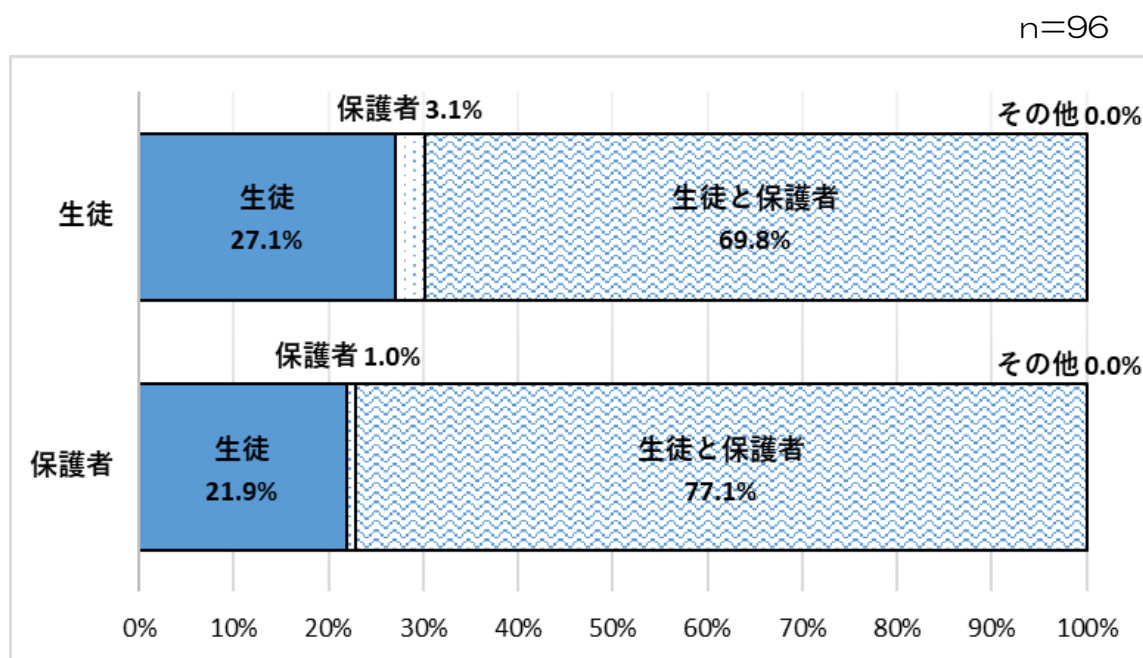
選択制利用なし

n=484



調布市立学校外

・調布市立学校と比較して、「生徒と保護者」の割合が高くなっています。



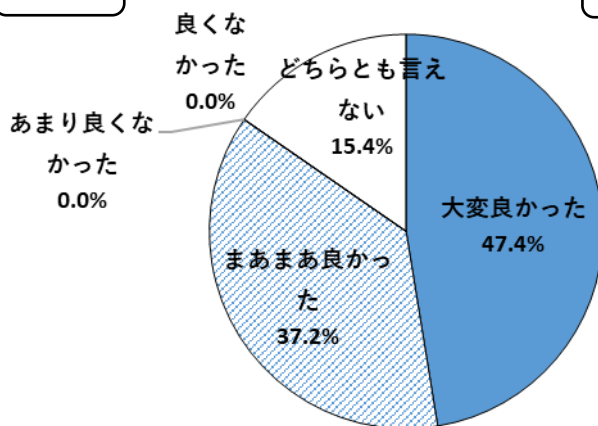
(8) 学校選択制の利用者満足度

Q 学校選択制を利用して良かったと思いますか。（選択制利用者のみ回答）

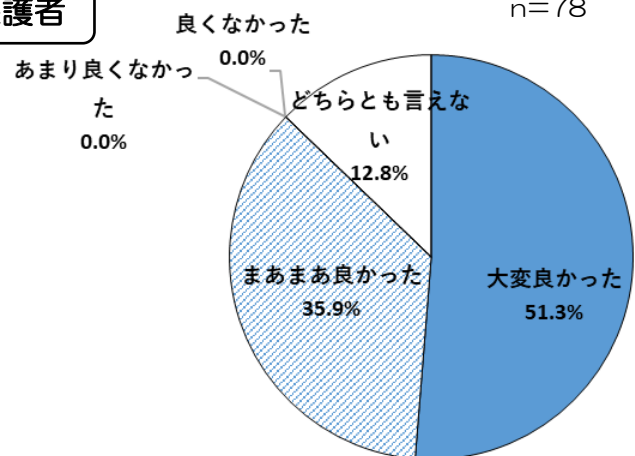
※保護者と生徒の質問項目をそれぞれ設けています。

- ・「大変良かった」と「まあまあ良かった」を合わせると、生徒及び保護者ともに84%を超えています。
- ・「大変良かった」「まあまあ良かった」と回答した理由については、選択制利用時（入学前）に希望した理由のとおりだったからと回答した生徒・保護者が95.5%を占めています。
- ・「良くなかった」「あまり良くなかった」と回答した方はいません。

生徒



保護者



■ 大変良かった ■ まあまあ良かった ■ あまり良くなかった ■ 良くなかった ■ どちらとも言えない

Q 回答した理由をお聞かせください。

生徒

n=66

- ・希望した時の理由(選択希望票提出時選んだ理由)のとおりだったから 95.5%
- ・その他 4.5%

【その他の理由】

先生方が良かった，今の学校が楽しいから。やりたい部活ができた。

保護者

- ・希望した時の理由(選択希望票提出時選んだ理由)のとおりだったから 95.5%
- ・その他 4.5%

【その他の理由】

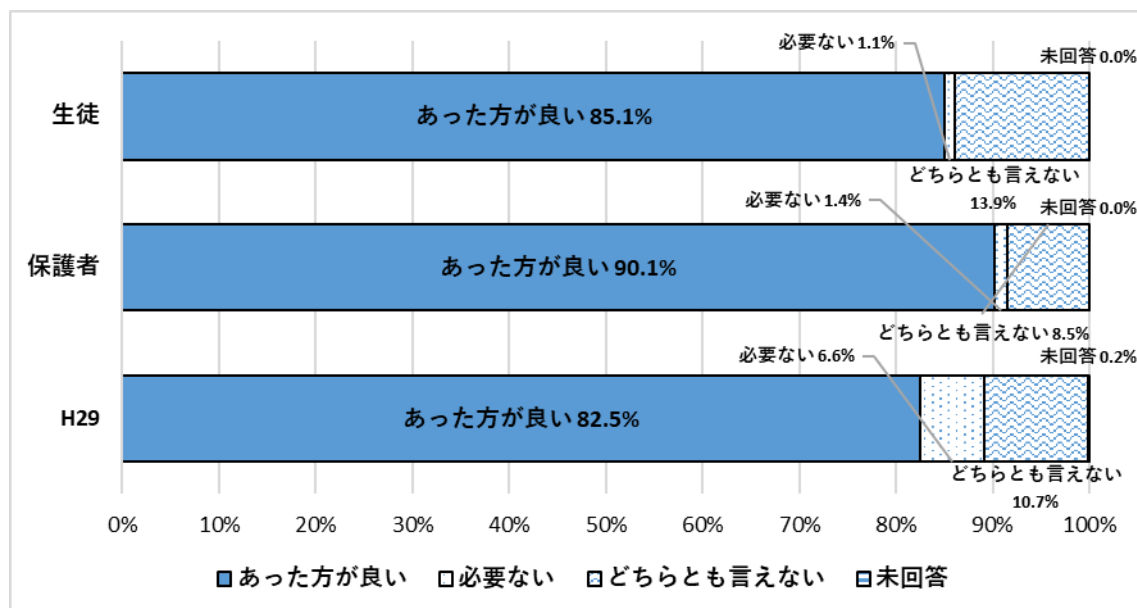
子供がそう感じているから。

(9) 学校選択制利用者からの支持状況

Q 中学校を選択できる機会があることについて、どのようにお考えですか。

※R6 調査では生徒と保護者の質問項目をそれぞれ設けています。

・「あった方が良い」は、生徒と保護者ともに85%を超えており、H29調査と比較して高くなっています。

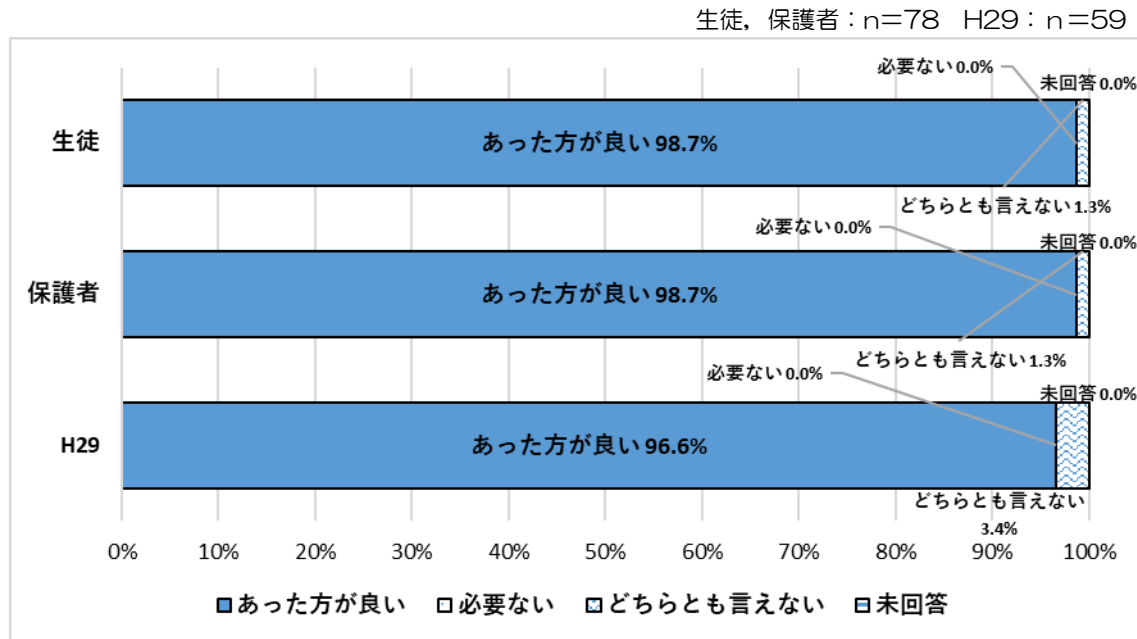


生徒，保護者：n=649

H29：n=593

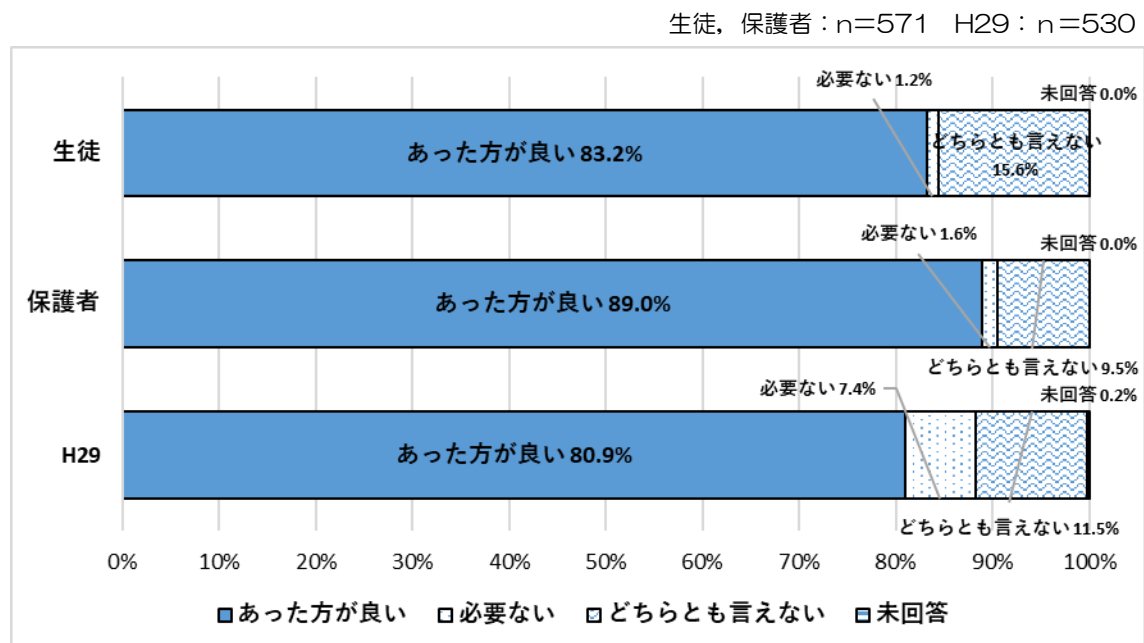
選択制利用あり

- ・「あった方が良い」は、生徒と保護者ともに 98.7%であり、選択制利用なしと比較して、10～15%程度高くなっています。
- ・「必要ない」と回答した方はいません。



選択制利用なし

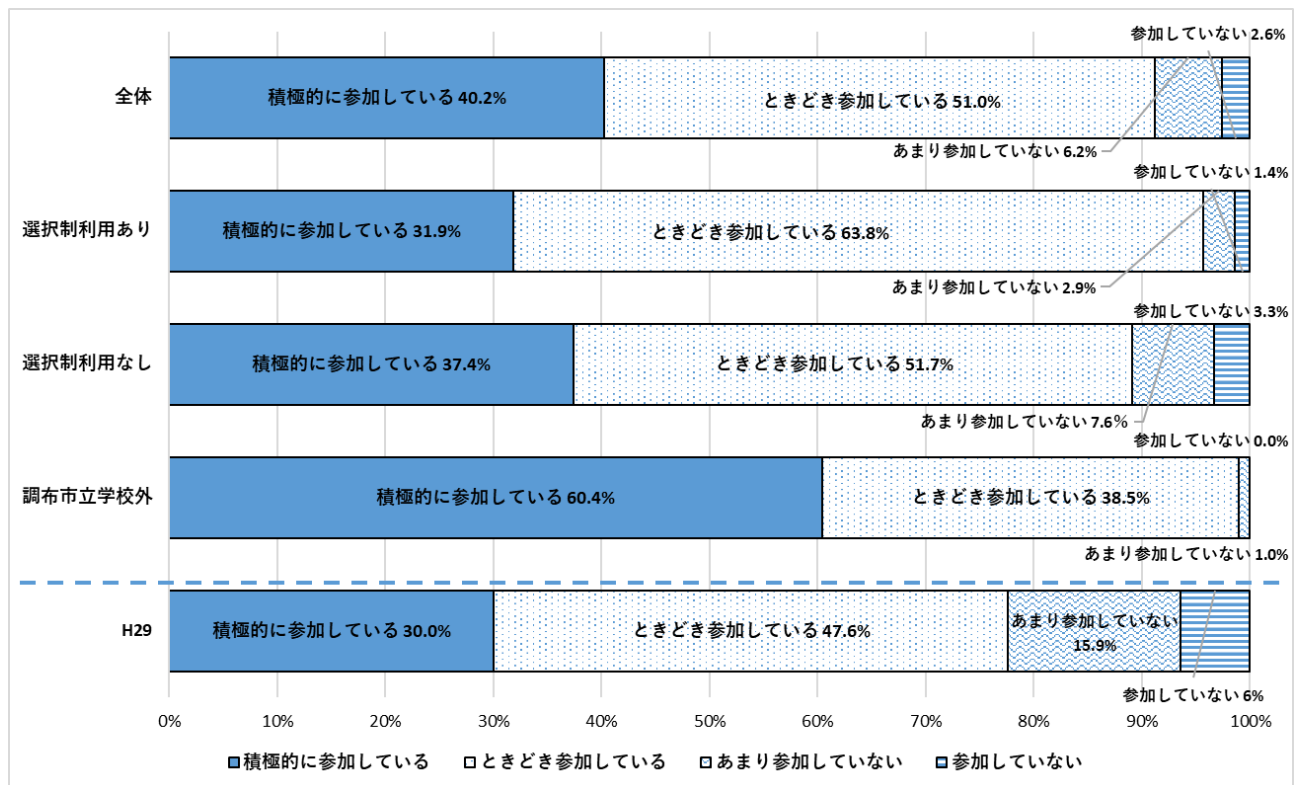
- ・選択制利用ありと比較して、「どちらとも言えない」と回答する割合が高くなっています。
- ・「必要ない」は約1%であり、H29調査と比較して、約6ポイント減少しています。



(10) 学校とのつながり

Q お子さまが入学した中学校の活動・行事に参加していますか。

- ・「ときどき参加している」は51%、「積極的に参加している」は40.2%であり、合計で91.2%となっており、H29と比較して、13.6ポイント増加しています。（全体）
- ・選択制利用ありの「積極的に参加している」は31.9%であり、選択制利用なしに比べ、5.5%低くなっています。一方で、「ときどき参加している」を合計すると95.7%であり、選択制利用なしの89.1%と比較すると、6.6%高くなっています。（選択制利用あり・なし）
- ・「積極的に参加している」が60.4%と最も高く、次いで「ときどき参加している」は38.5%であり、調布市立学校と比較すると、積極的に学校行事に参加している割合が高くなっています。（調布市立学校外）

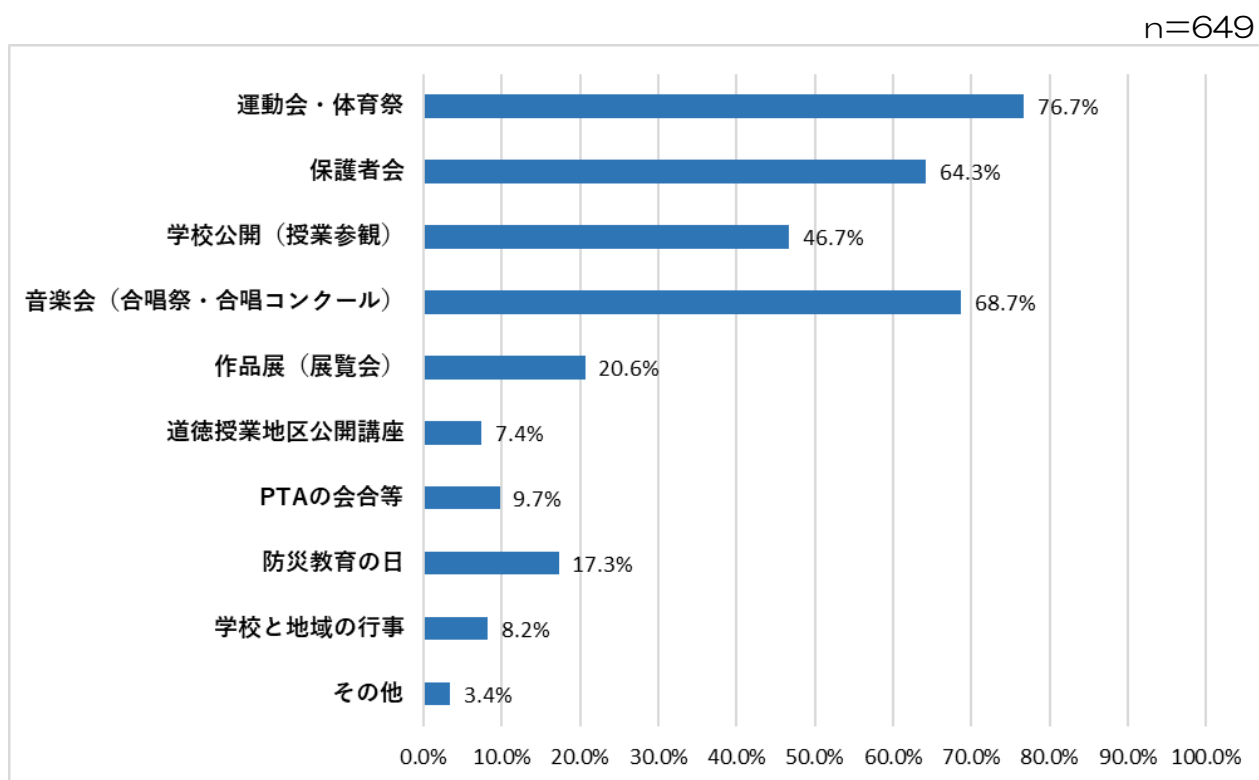


全体 n=649 選択制利用あり n=69
 選択制利用なし n=484 調布市立学校外 n=96
 H29 n=590

Q どのような活動に参加していますか。（複数回答可）

調布市立学校

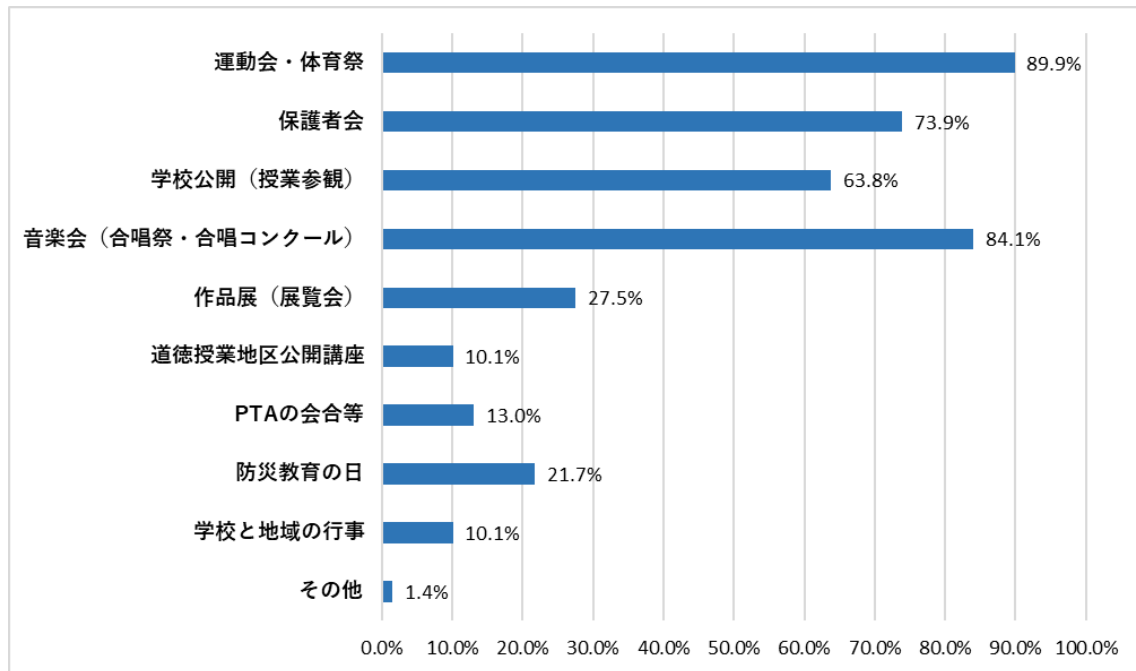
・「運動会・体育祭」が76.7%と最も高く、次いで「音楽会（合唱祭・合唱コンクール）」が高くなっています。



- ・選択制利用あり・なしともに「運動会・体育祭」の割合が約90%と最も高く、次いで「音楽会（合唱祭・合唱コンクール）」が高くなっています。
- ・保護者が参加する活動について、選択制利用の有無による大きな差はありません。

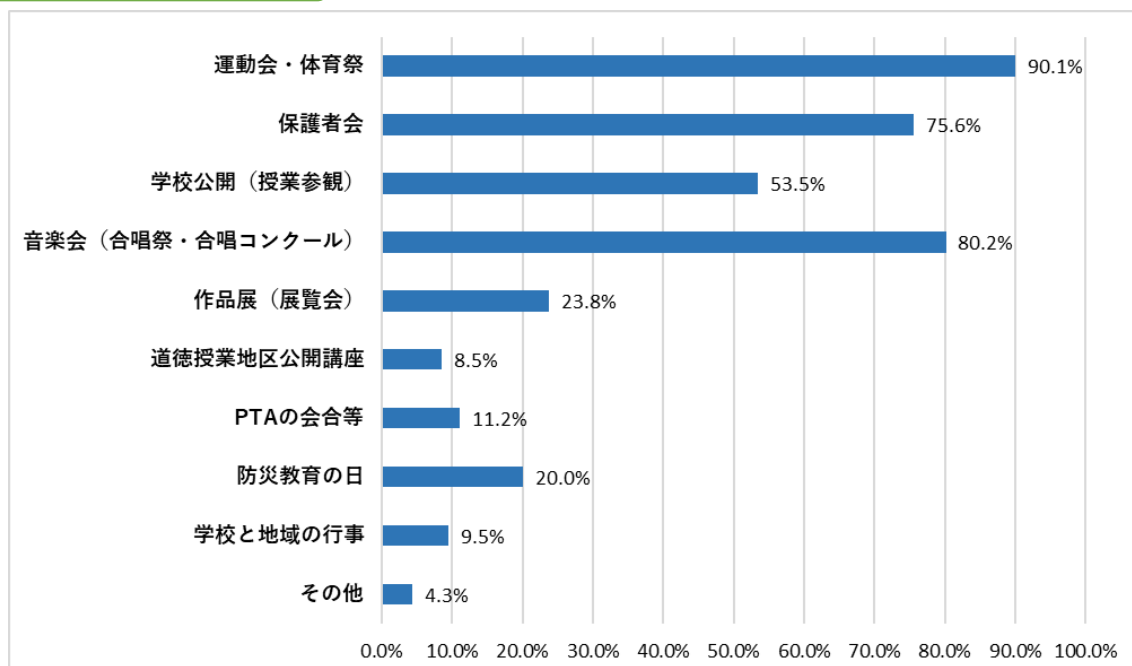
選択制利用あり

n=69



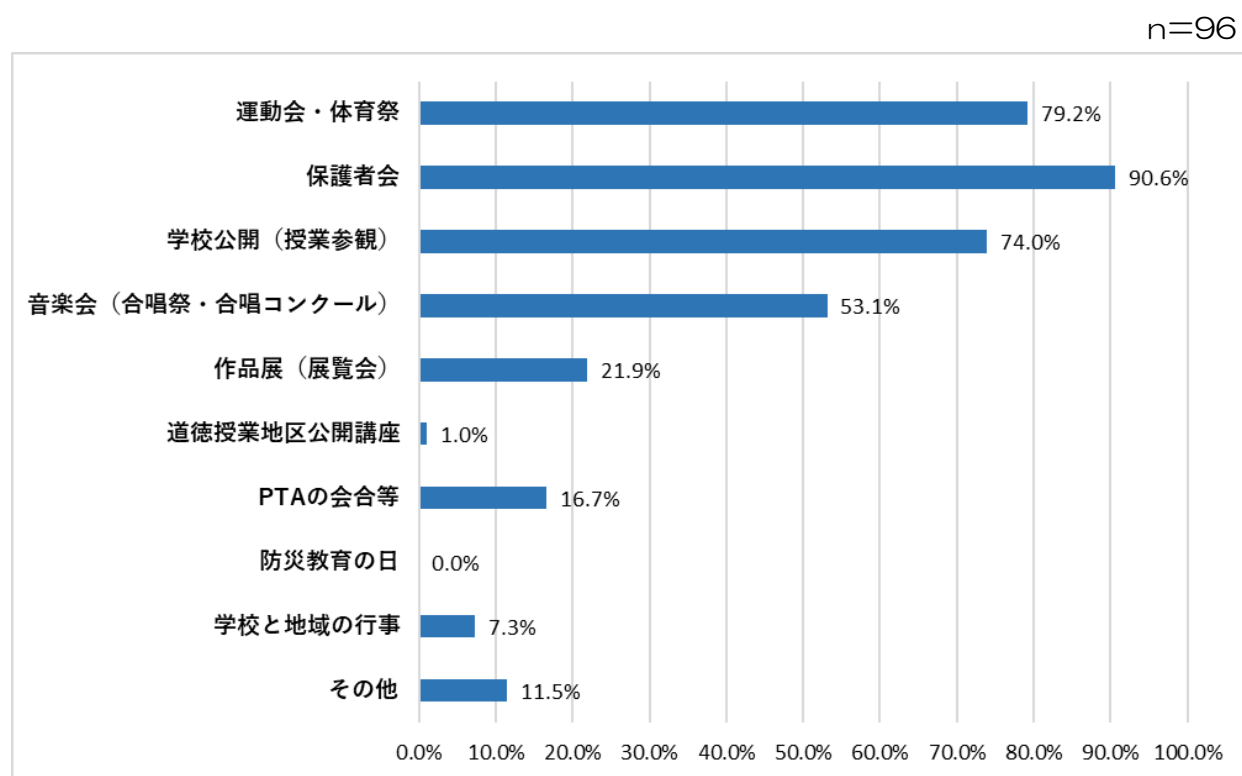
選択制利用なし

n=484



調布市立学校外

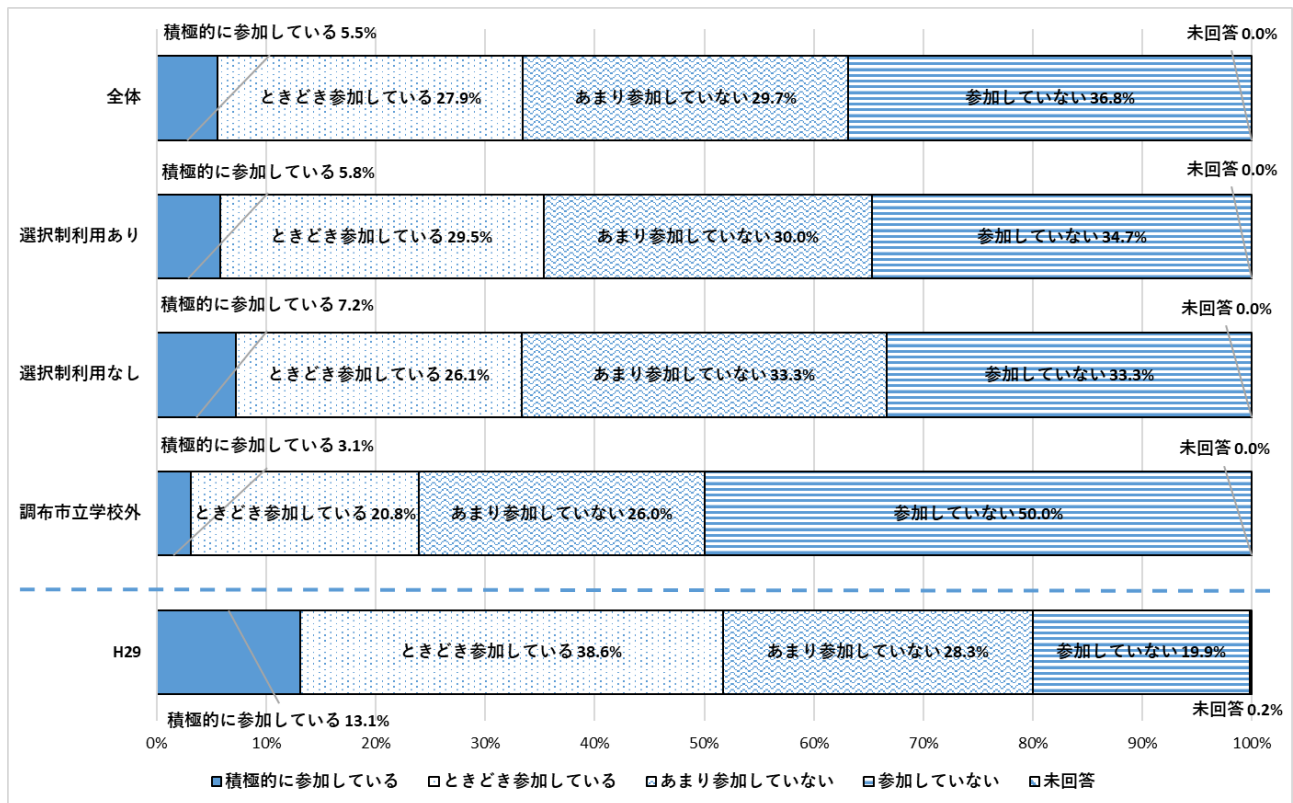
・「保護者会」が90.6%と最も高く、調布市立学校と比較すると、26.3%高くなっています。次いで「運動会・体育祭」が高くなっています。



(11) 地域とのつながり

Q 居住する地域(地域住民・町会・自治会等)の活動・行事に参加していますか。

- ・「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計は 33.4%であり、H29 調査の 51.7%と比較すると、18.3 ポイント減少しています。（全体）
- ・選択制利用ありの「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計は 35.3%であり、選択制利用なしの 33.3%と比較しても大きな差はありません。（選択制利用あり・なし）
- ・「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計は 23.9%であり、調布市立学校（選択制利用あり・なし）の同項目と比較すると、低くなっています。（調布市立学校外）



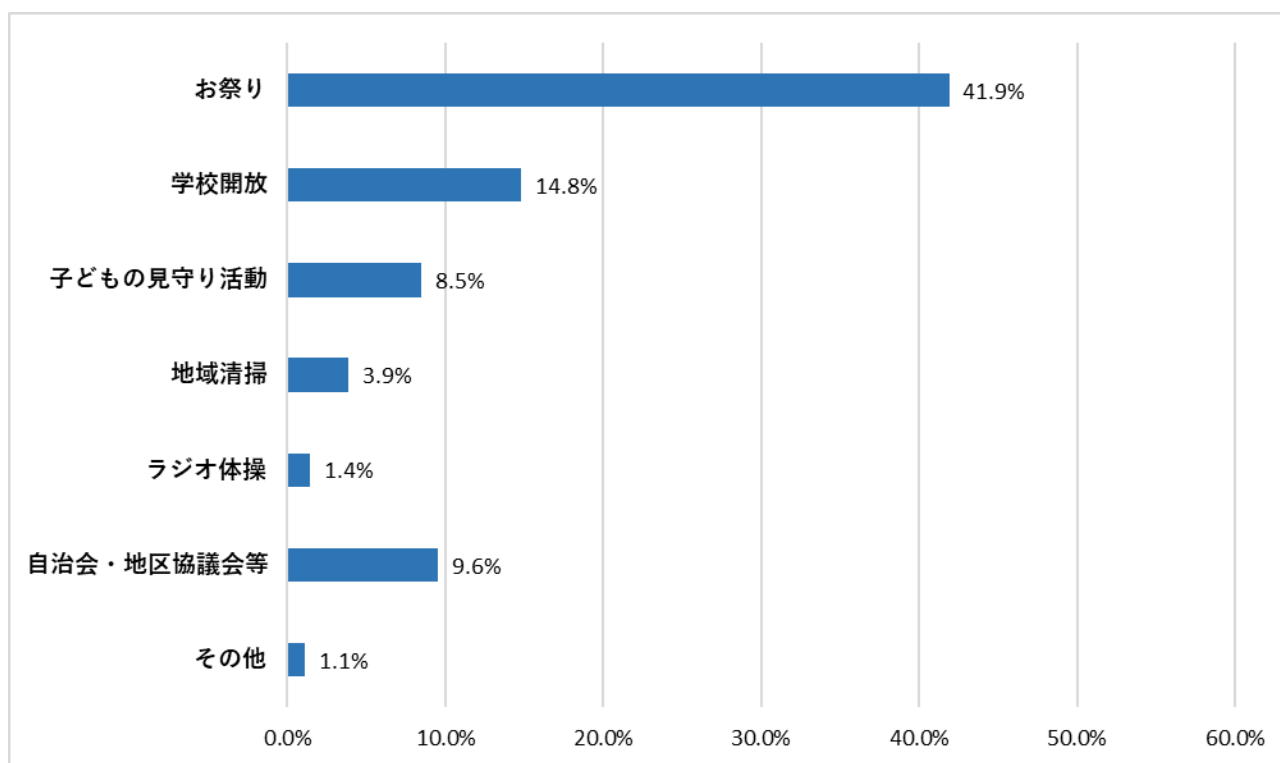
全体 n=649 選択制利用あり n=69
 選択制利用なし n=484 調布市立学校外 n=96
 H29 n=590

Q どのような活動に参加していますか。

調布市立学校

・「お祭り」が41.9%と最も高く、次いで「学校開放」が高くなっています。

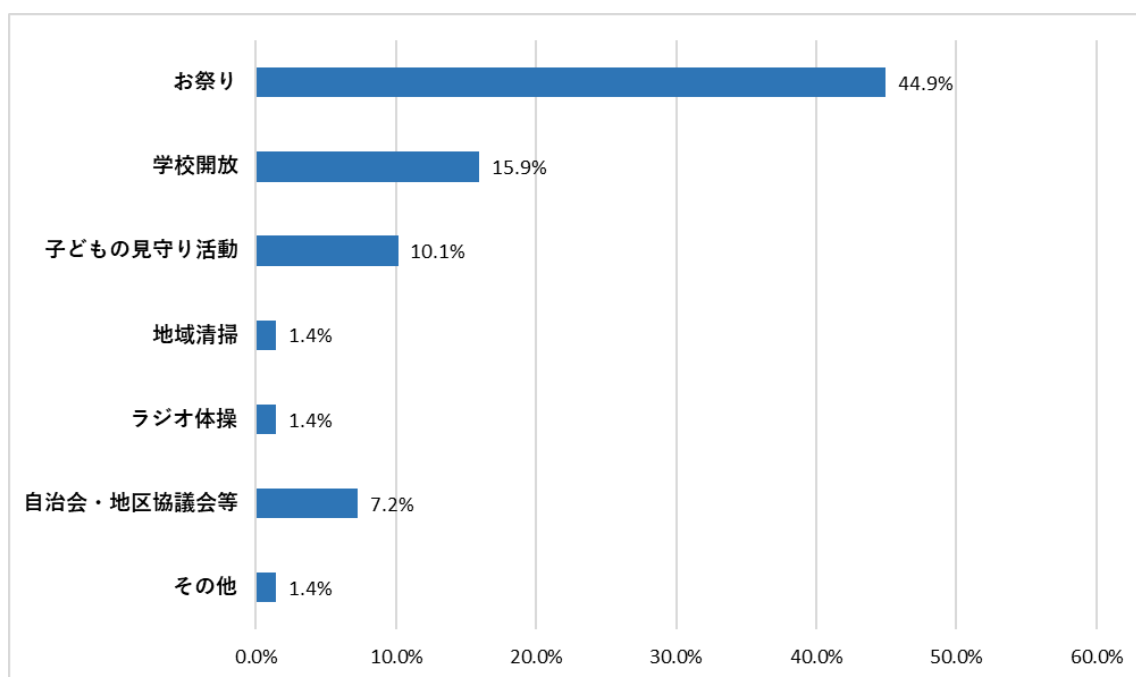
n=649



- ・選択制利用あり・なしともに「お祭り」の割合が一番高く、次いで「学校開放」が高くなっています。
- ・保護者が参加する地域の行事・活動の内容について、選択制利用の有無による大きな差はありません。

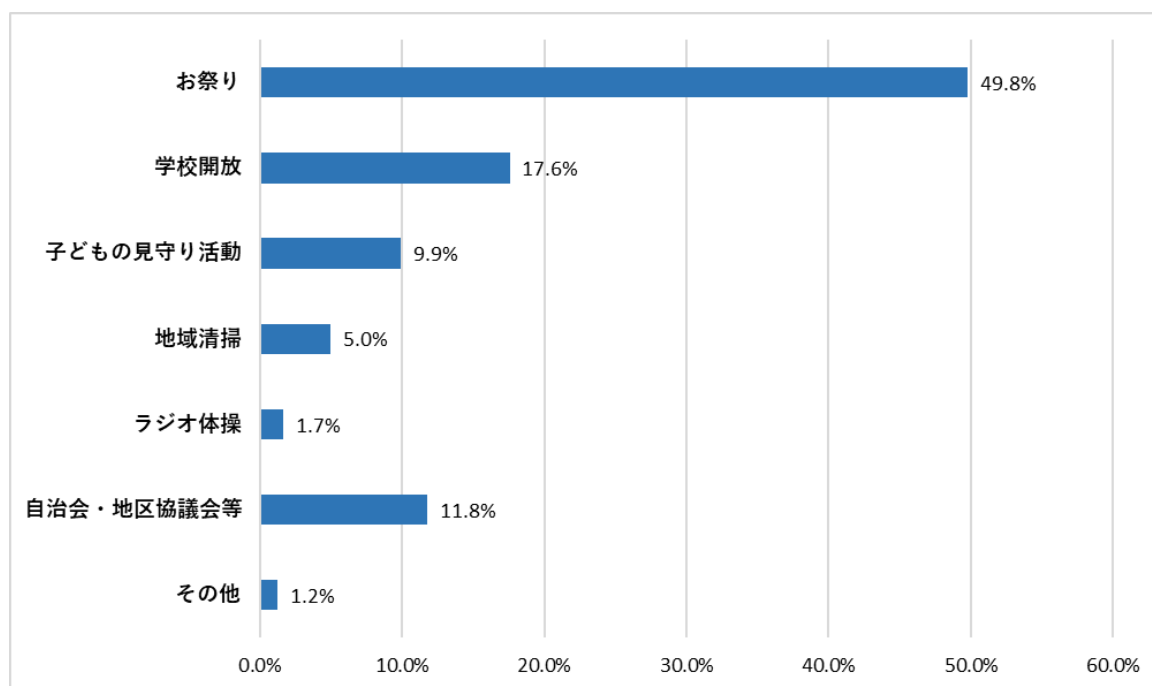
選択制利用あり

n=69



選択制利用なし

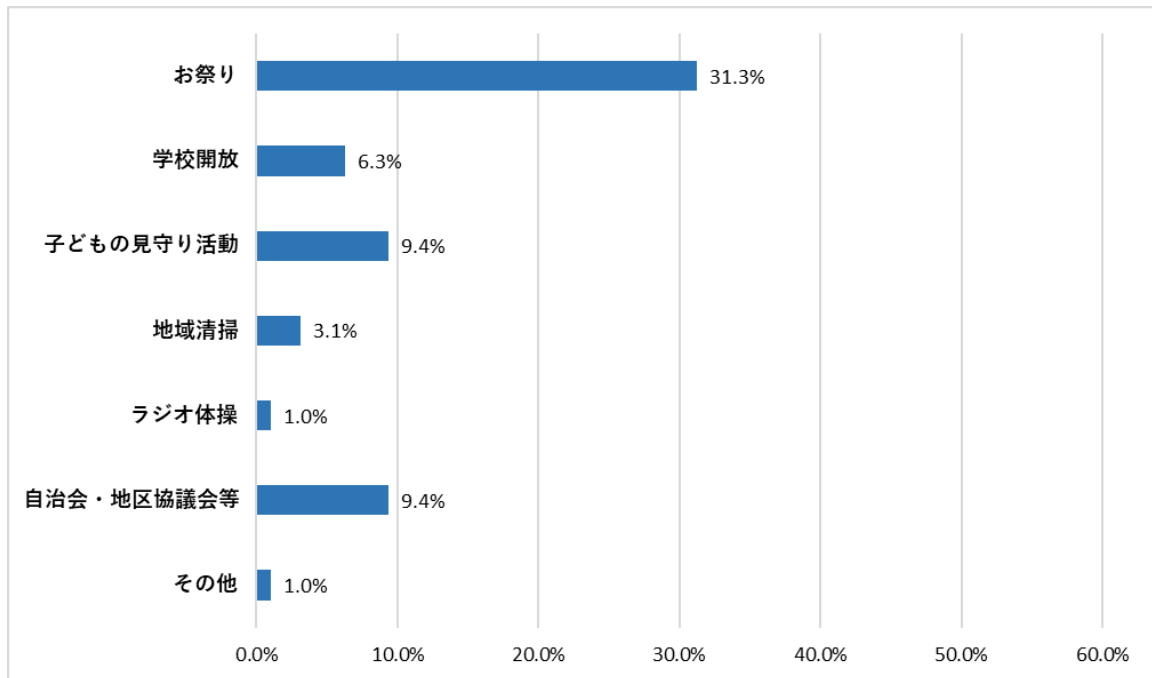
n=484



調布市立学校外

- ・調布市立学校と比較すると、「お祭り」と「学校開放」の割合が低くなっています。
- ・「お祭り」が31.3%と最も高く、調布市立学校と比較すると、10.6%低くなっています。次いで「自治会・地区協議会等」が高くなっています。

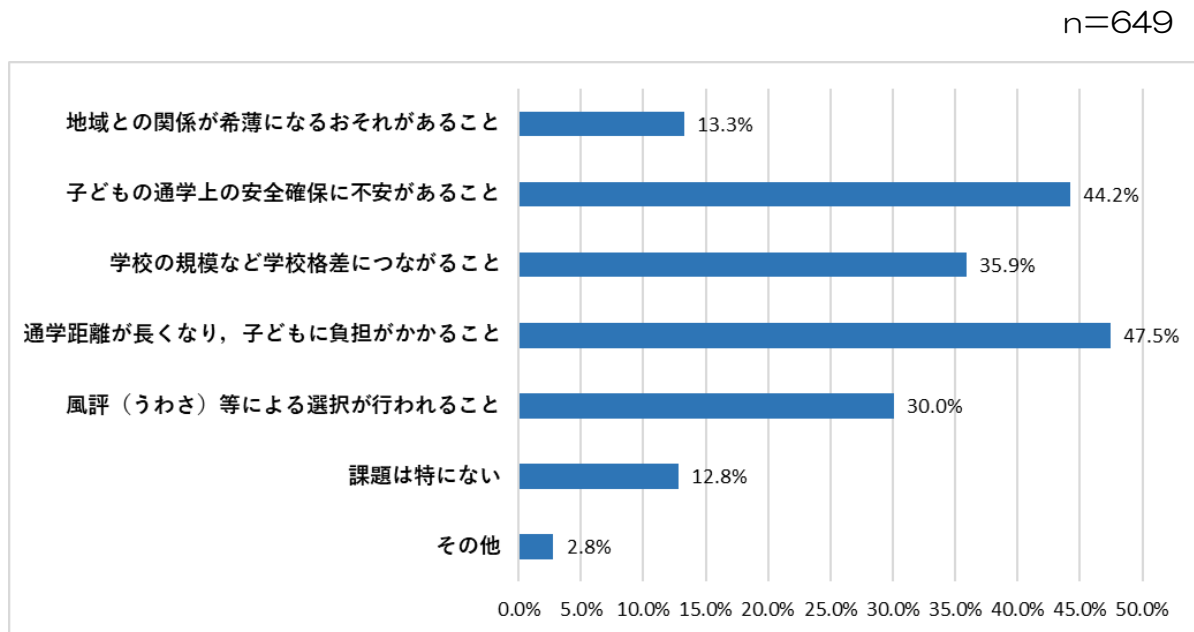
n=96



(12) 学校選択制度の課題

Q 学校選択制度の課題だと思うことはなんですか。（3つまで回答可）

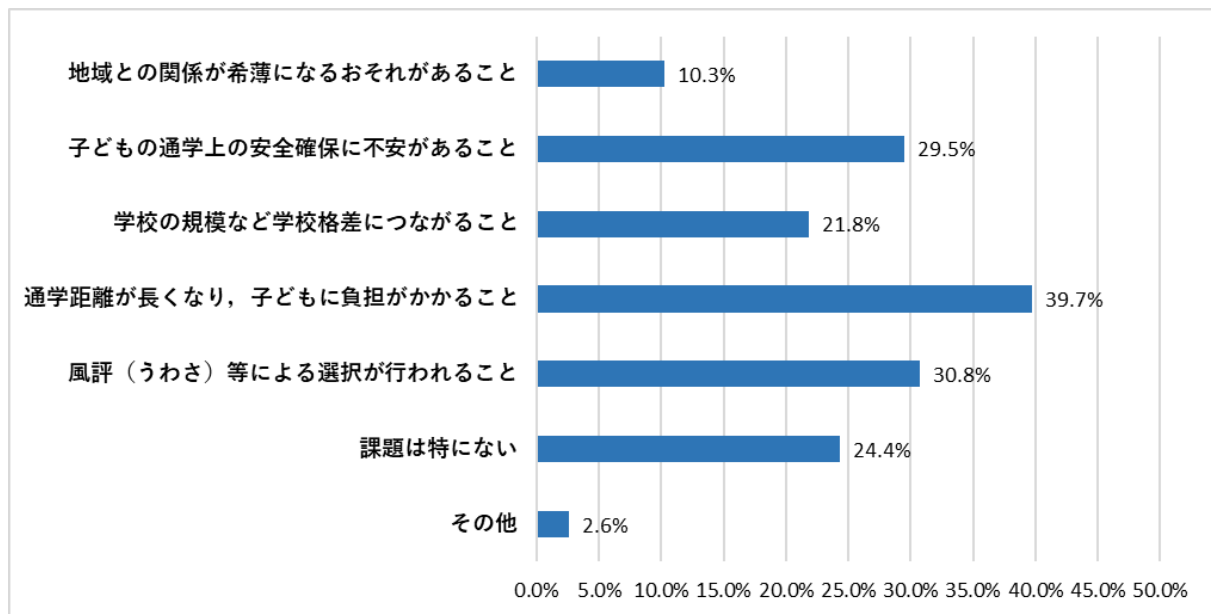
・「通学距離が長くなり，子どもに負担がかかること」が47.5%と最も高く，次いで「子どもの通学上の安全確保に不安があること」の44.2%，「学校の規模など学校格差につながること」の35.9%の順となっています。



選択制利用あり

- ・「通学距離が長くなり，子どもに負担がかかること」が39.7%と最も高く，次いで「風評（うわさ）等による選択が行われていること」の30.8%が高くなっています。
- ・「課題は特にない」が24.4%であり，選択制利用なしと比較すると，13.2%高くなっています。

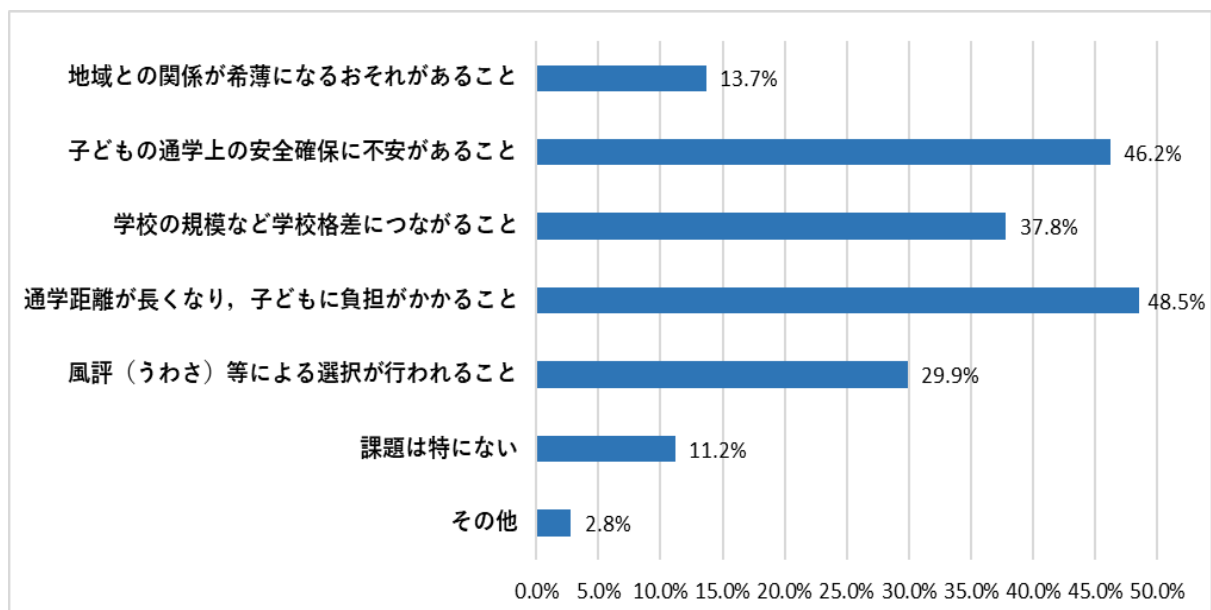
n=78



選択制利用なし

- ・「通学距離が長くなり，子どもに負担がかかること」が48.5%と最も高く，次いで「子供の通学上の安全確保に不安があること」の46.2%が高くなっています。選択制利用なしの同項目と比較すると，ともに16%以上高くなっています。

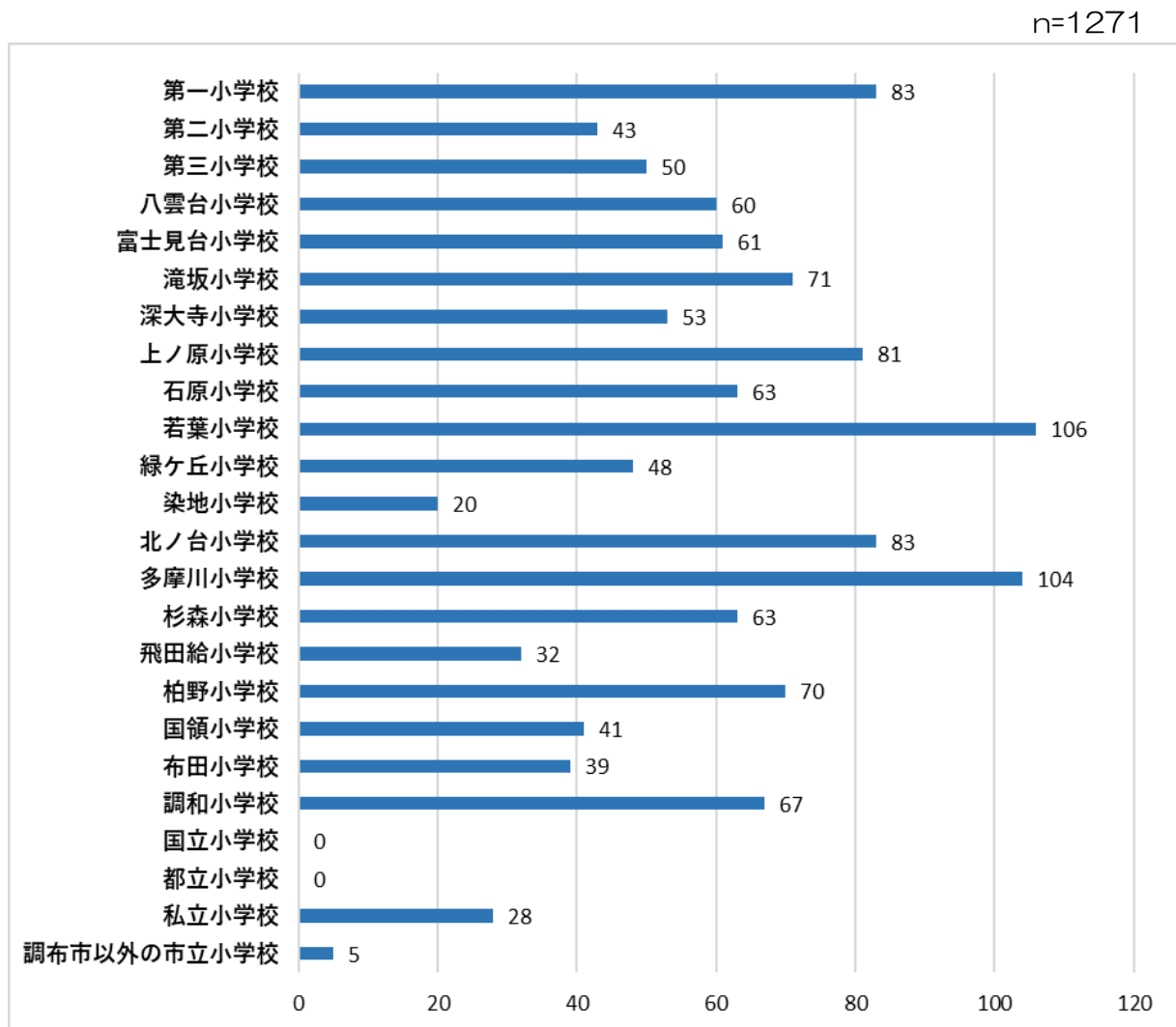
n=571



5 小学校5年生及びその保護者

(1) 回答した児童の在籍

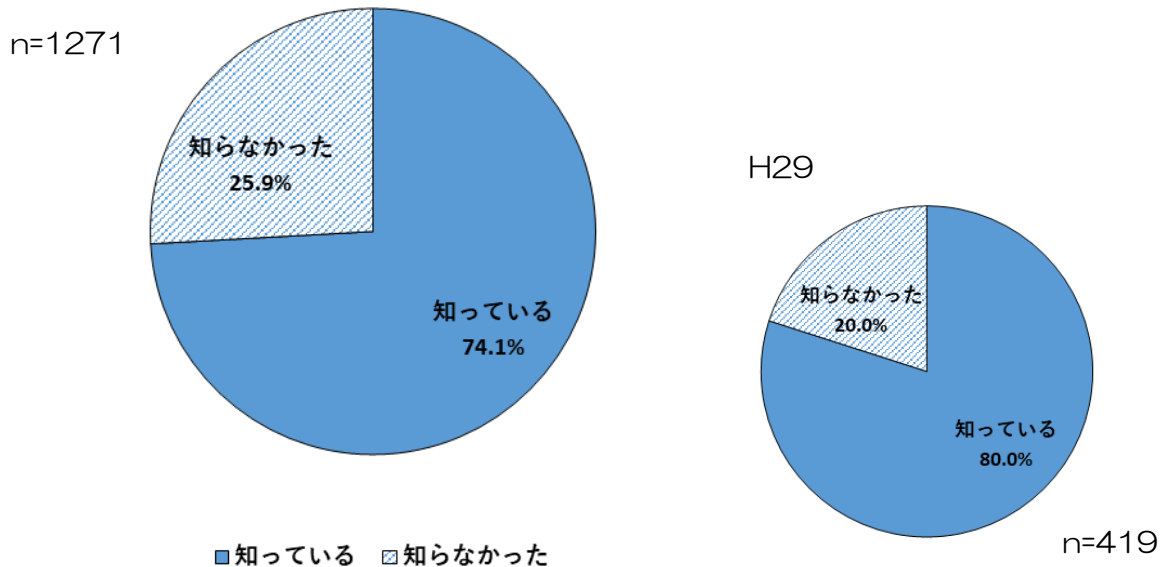
Q 今在籍している学校はどこですか。



📍 「調布市以外の市立小学校」は、区域外就学の制度により、世田谷区や三鷹市などの周辺自治体の区立・市立学校へ通学している児童です。

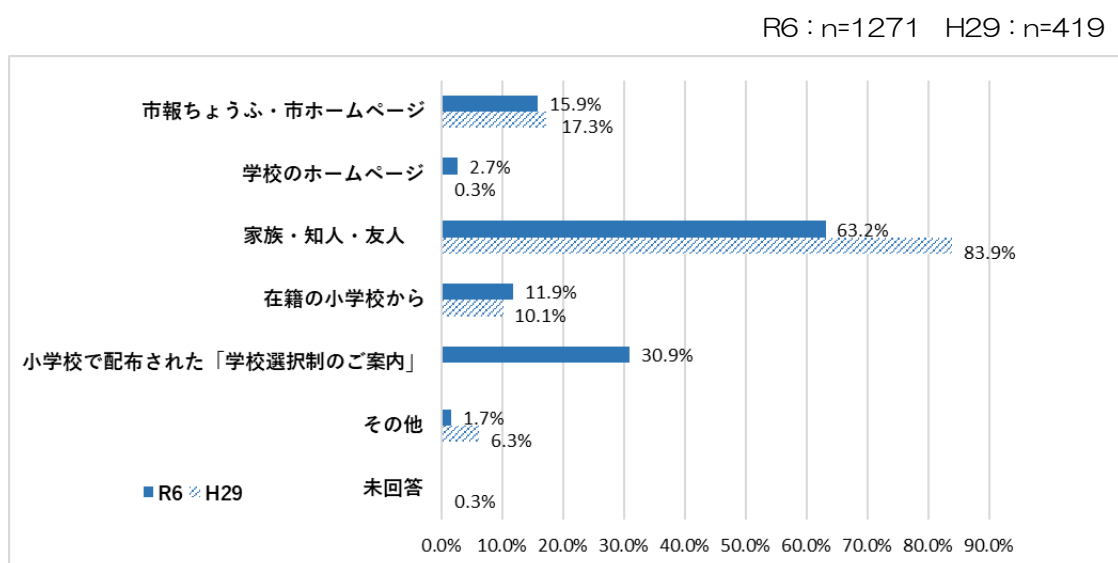
(2) 学校選択制の周知状況と情報取得方法

Q 学校選択制が実施されているということをご存知ですか。



Q 学校選択制をどのような方法で知りましたか。（兄弟進学時に学校選択制を知った方はその時にどのような方法で知りましたか。）（複数回答可）

- ・「家族・知人・友人」が63.2%と最も高く、次いで「小学校で配布された「学校選択制のご案内」」が高くなっています。
- ・「家族・知人・友人」から知った割合が、H29 調査と比べ、20.7 ポイント減少しています。



※「小学校で配布された「学校選択制のご案内」」は R6 新設。

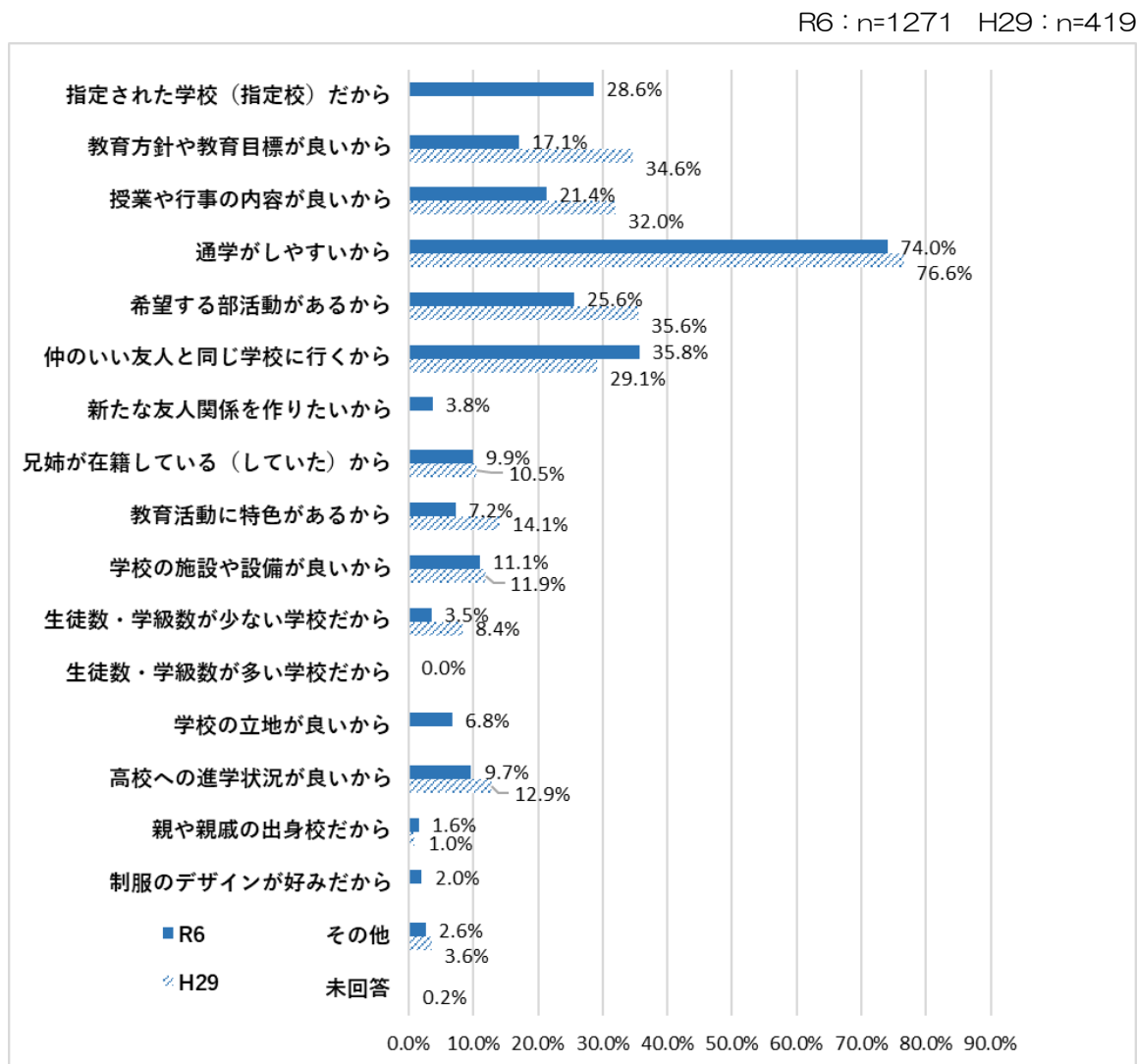
㊦ 「小学校で配布された「学校選択制のご案内」」については、制度の早期周知を目的として、令和2年度から、毎年9月頃に、小学校5年生向けに案内を配布しています。

(3) 進学先の選択理由

Q 学校を選択する際に、どのような理由で中学校を選びたいと考えていますか。

（3 つまで回答可）

- ・「通学がしやすいから」が 74%と最も高く、次いで「仲のいい友人と同じ学校に行くから」の 35.8%、「指定された学校だから（指定校）」の 28.6%の順となっています。
- ・一方で、「教育方針や教育目標が良いから」「授業や行事の内容が良いから」など、学校教育に関する項目の割合が、H29 調査と比較して低くなっています。



※「指定された学校（指定校）だから」「学校の立地がいいから」「制服のデザインが好みだから」は R6 新設。

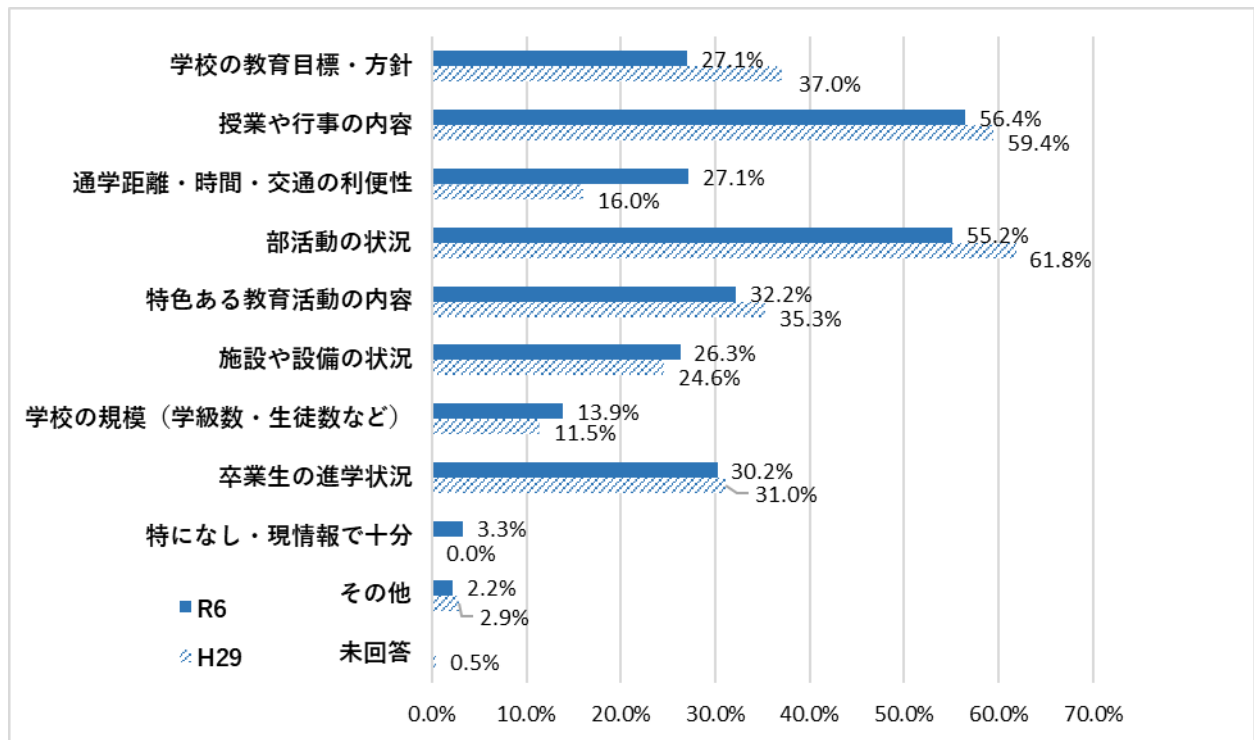
※「仲のいい友人と同じ学校に行くから」「新たな友人関係を作りたいから」は H29 の選択項目「友人関係」を分割。「生徒数・学級数が多い学校だから」「生徒数・学級数が少ない学校だから」は H29 の選択項目「学校の規模（学級数・生徒数）」を分割。

(4) 求められる情報

Q 学校を選択する際に、どの情報が多くあることを希望しますか。（3つまで回答可）

- ・「授業や行事の内容」が56.4%と最も高く、次いで「部活動の状況について」の55.2%、「特色ある教育活動の内容」の32.2%の順となっています。
- ・求められている情報については、H29調査と比較すると、「学校の教育目標・方針」が約10ポイント減少する一方で、「通学距離・時間・交通の利便性」についての情報を求める割合が11.1ポイント増加しています。

R6：n=1271 H29：n=419

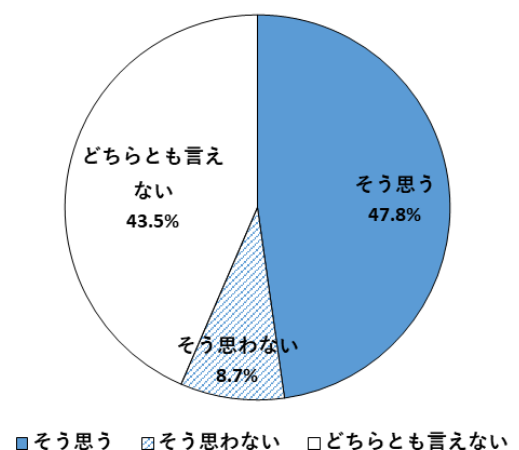


(5) 学校や教育に対する関心

Q 学校選択制により、学校や教育に対する関心や理解が高まっていると感じますか。

- ・「そう思う」が47.8%と、最も高くなっており、中学校2年生とその保護者への同じ質問に対する回答と比較すると、4.5%高くなっています。

n=1271

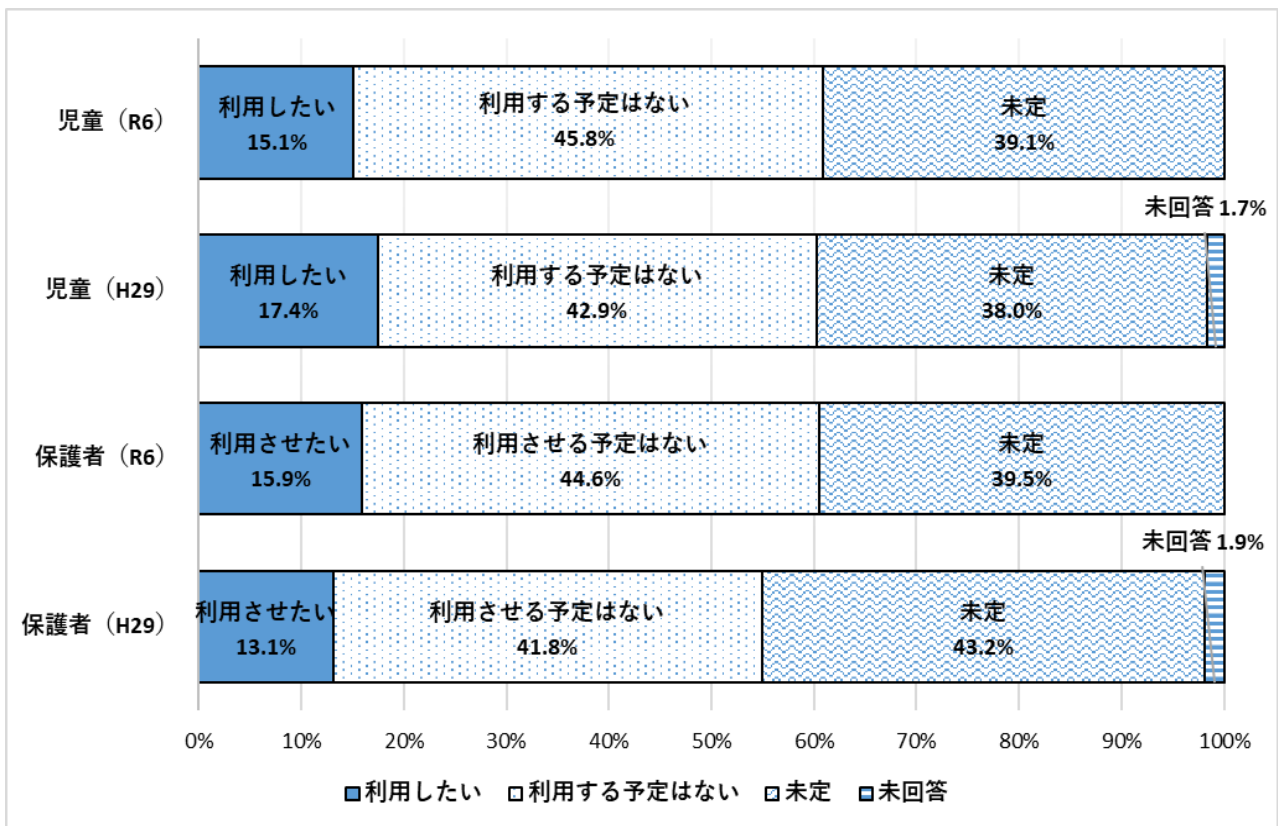


(6) 現段階での学校選択制利用希望

Q 中学校入学時に、学校選択制を利用したい（させたい）と考えていますか。

※児童と保護者の質問項目をそれぞれ設けています。

- ・児童・保護者ともに「利用する（させる）予定はない」が40%を超え、最も高くなっています。
- ・一方で、「利用したい（させたい）」は15%程度となっており、例年の学校選択制の利用率（P4「別表1」学校選択制の利用者数と利用率参照）と同程度の割合となっています。
- ・学校選択制度を「利用したい」と回答した児童の割合は、H29調査と比較すると、2.3ポイント減少しています。一方、保護者の回答は、2.8ポイント増加しています。



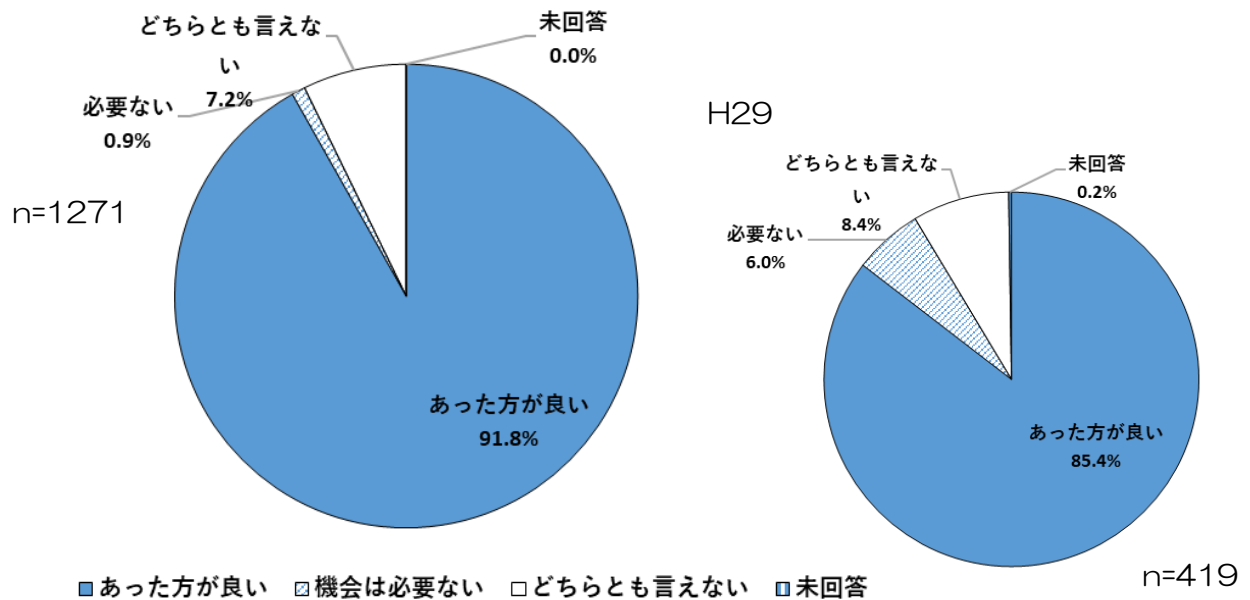
児童（R6）： n=1271 児童（H29）： n=419

保護者（R6）：n=1271 保護者（H29）：n=419

(7) 学校選択制利用予定者からの支持状況

Q 中学校を選択できる機会があることについて、どのようにお考えですか。

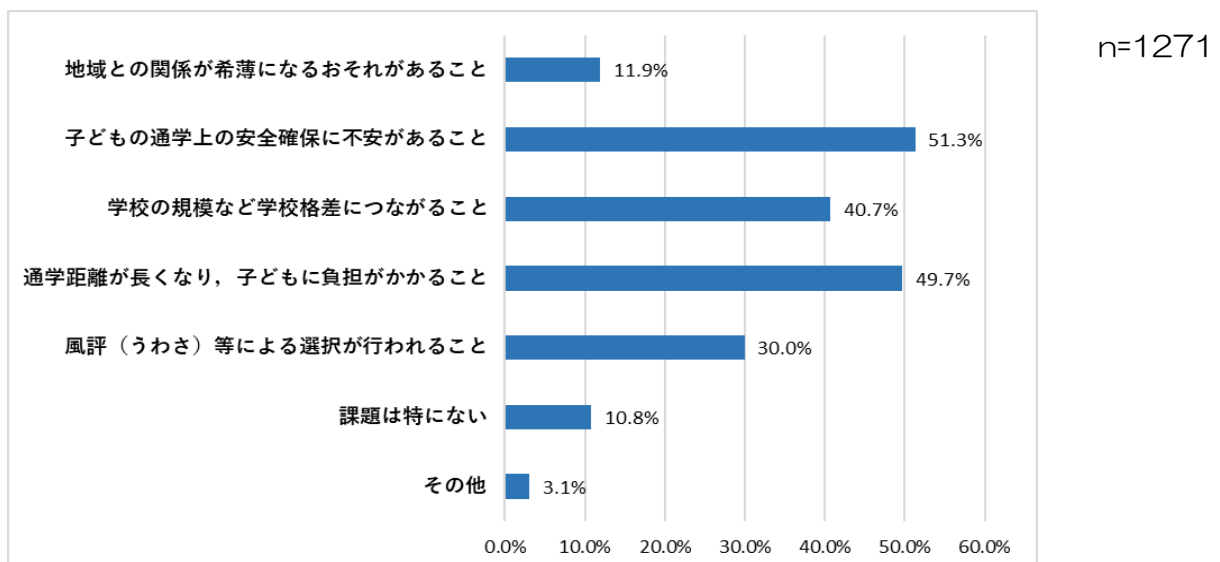
- ・「あった方がよい」が91.8%と最も高くなっています。
- ・「あった方がよい」はH29調査と比較すると、6.4ポイント増加しています。
- ・「機会はいらない」はH29調査と比較すると、5.1ポイント減少しています。



(8) 学校選択制の課題

Q 学校選択制度の課題だと思うことはなんですか。（3つまで回答可）

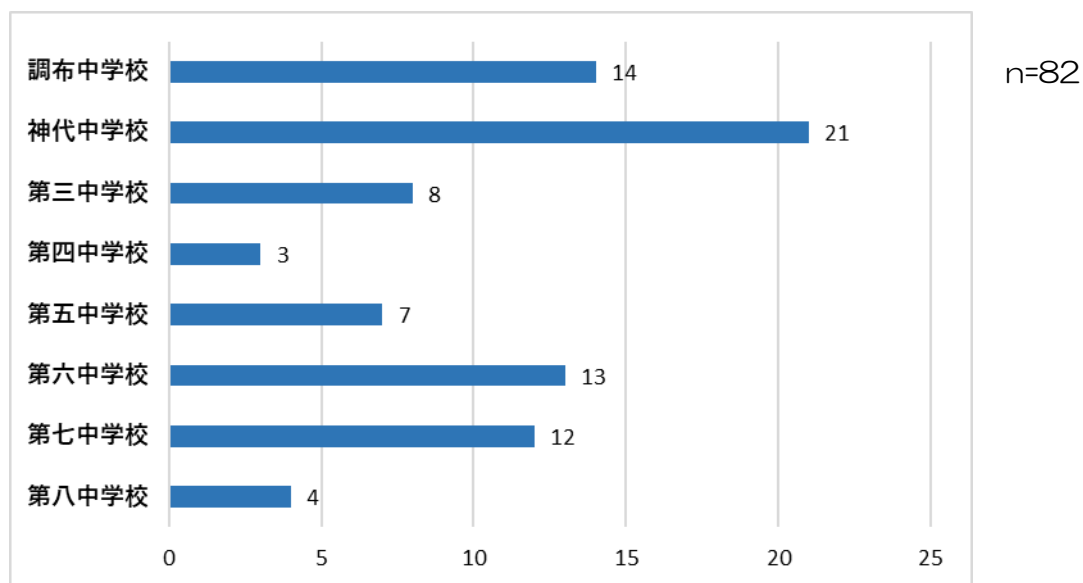
- ・「子供の通学上の安全確保に不安があること」が51.3%と最も高く、次いで「通学距離が長くなり、子どもに負担がかかること」の49.7%、「学校の規模など学校格差につながること」の40.7%の順となっています。



6 中学校教員

(1) 回答者の在籍学校

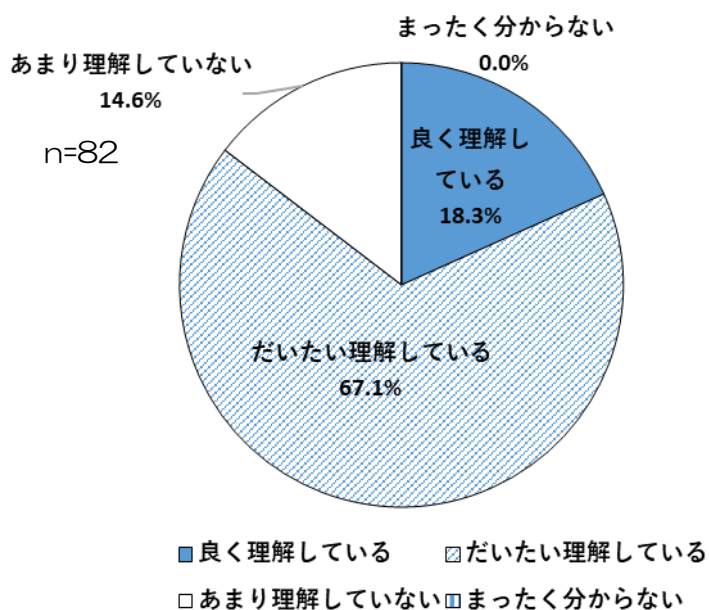
Q 在籍している学校を教えてください。



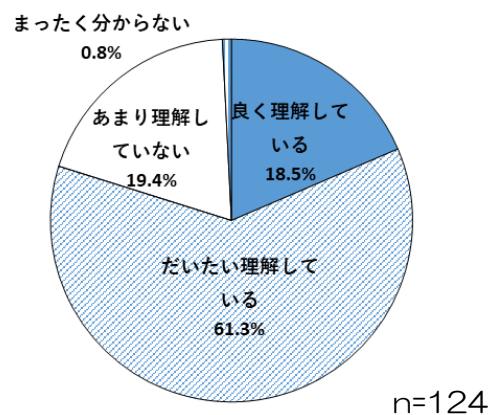
(2) 学校選択制の周知状況

Q 学校選択制を理解していますか。

・「良く理解している」「だいたい理解している」の合計が85.4%となっており、H29 調査と比較して、5.6 ポイント増加しています。



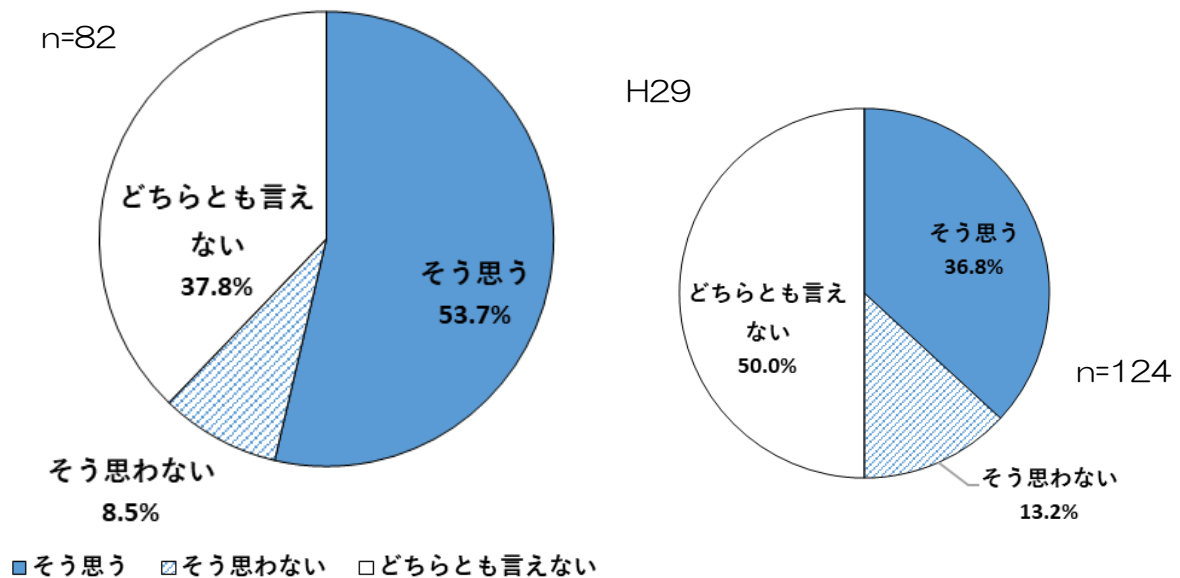
H29



(3) 学校や教育に対する関心

Q 学校選択制を実施することにより，児童・保護者の学校や教育に対する関心や理解が高まっていると感じますか。

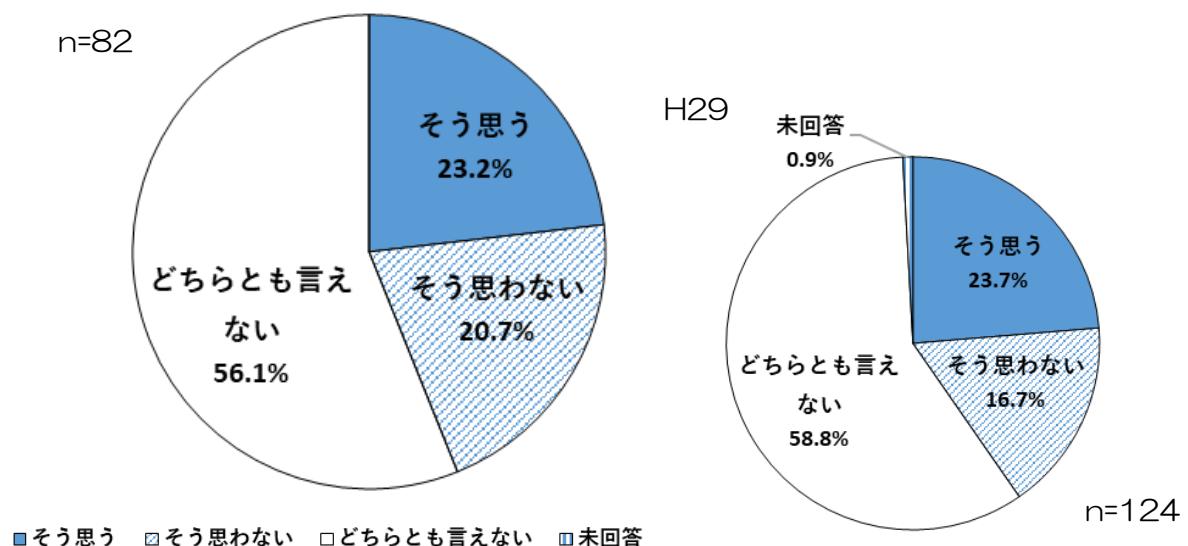
・半数以上が「そう思う」と回答しており，H29 調査と比較して，16.9 ポイント増加しています。



(4) 特色ある学校への取組

Q 学校選択制を実施したことにより，中学校が選択できるようになることで，中学校が活性化したと思いますか。

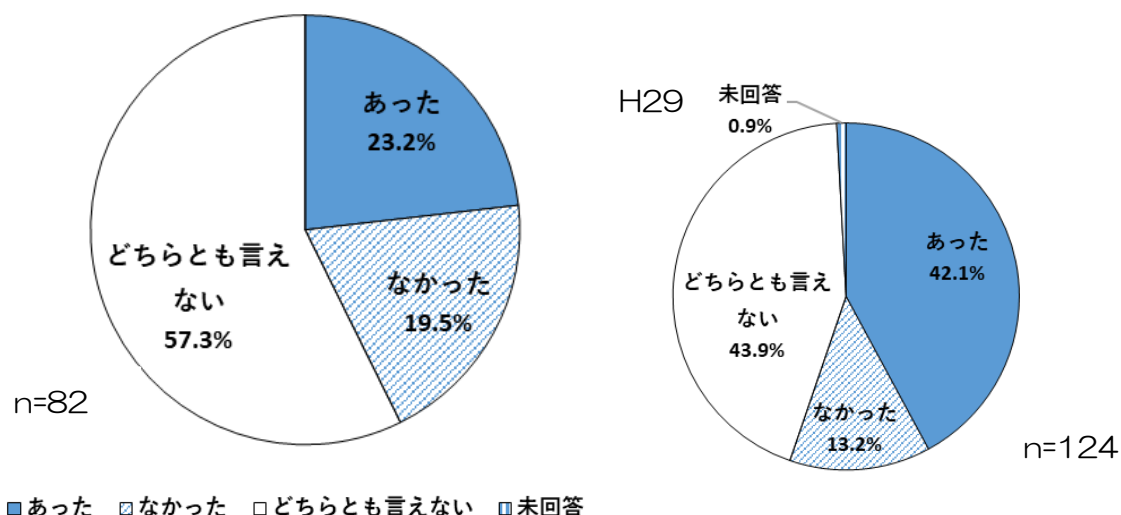
・「どちらともいえない」が半数以上を占めています。
 ・「そう思う」が 23.2%であり，「そう思わない」より高くなっています。一方で，「そう思わない」と回答した割合は，H29 調査と比較して，4 ポイント増加しています。



(5) 学校選択制の学校への影響

Q 学校選択制を実施したことにより、学校として良かったと感じることはありましたか。

・「あった」と回答した割合が、H29 調査と比較して、18.9 ポイント減少しています。一方で、「なかった」と回答した割合が、H29 調査と比較して、6.3 ポイント増加しています。

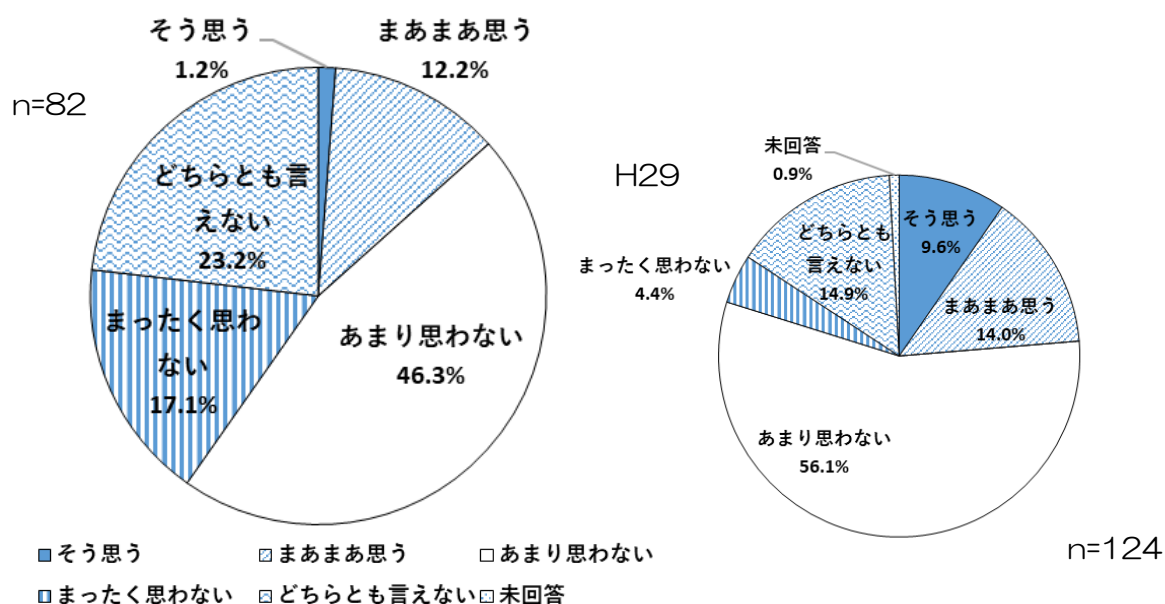


(6) 地域とのつながり

Q 学校選択制を実施したことによって、学校と地域とのつながり・連携が希薄化していると思いますか。

・「そう思う」「まあまあ思う」の合計が13.4%となっており、H29 調査と比較して、10.2 ポイント減少しています。

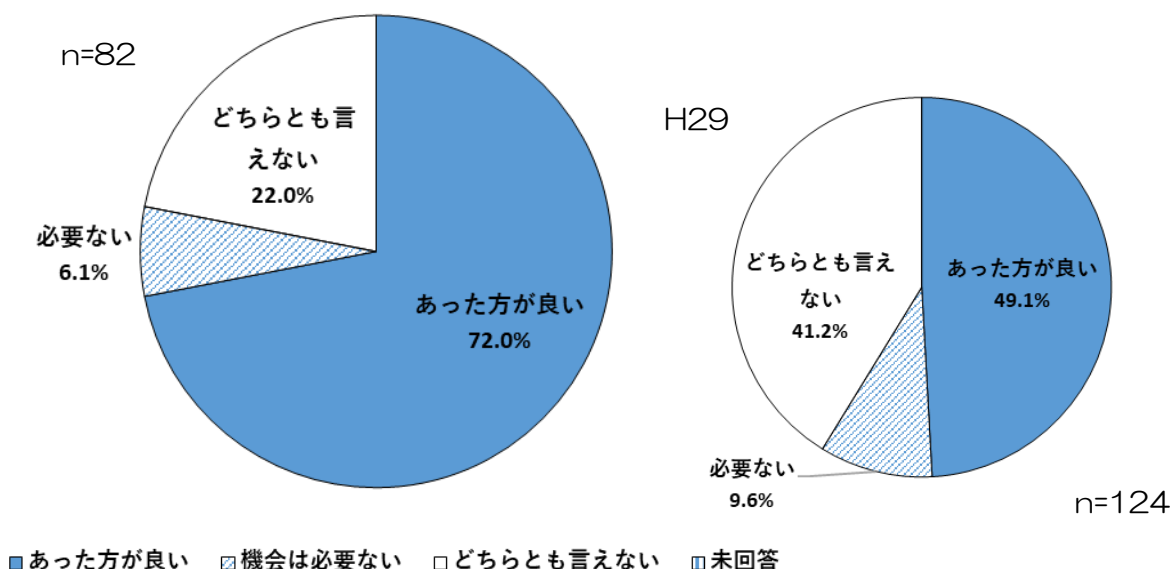
・「あまり思わない」「まったく思わない」の合計が63.4%となっており、H29 調査と比較して、2.9 ポイント増加しています。



(7) 学校選択制の支持状況

Q 中学校を選択できる機会があることについて、どのようにお考えですか。

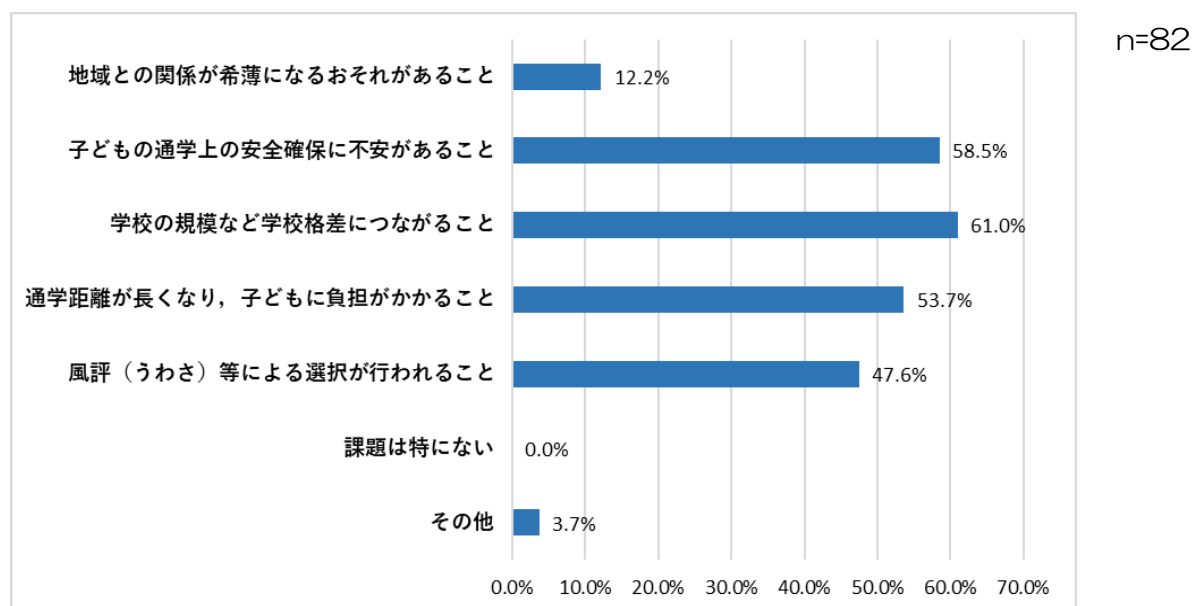
- ・「あった方がよい」が72%と最も高く、H29調査と比較して、22.9ポイント増加しています。
- ・「機会は必要ない」は6.1%で、H29調査と比較して、3.5ポイント減少しています。



(8) 学校選択制の課題

Q 学校選択制度の課題だと思うことはなんですか。（3つまで回答可）

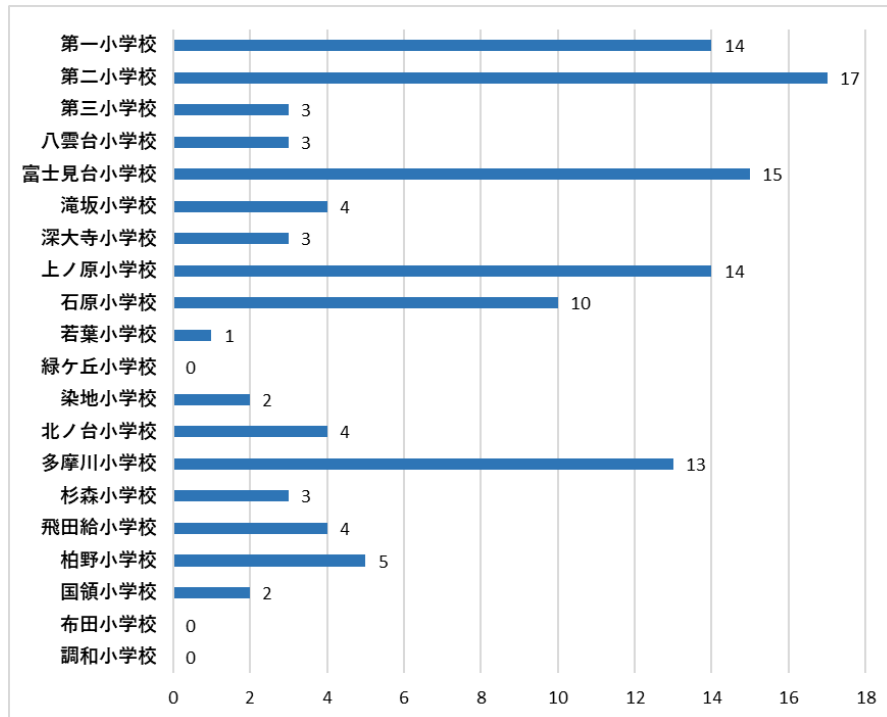
- ・「学校の規模など学校格差につながる事」が61%と最も高く、次いで「子どもの通学上の安全確保に不安があること」の58.5%で、「通学距離が長くなり、子どもに負担がかかること」の53.7%の順となっています。



7 小学校教員

(1) 回答者の在籍学校

Q 在籍している学校を教えてください。

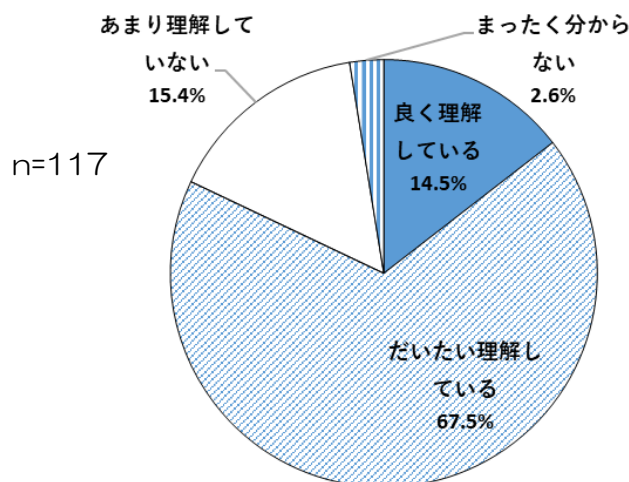


n=117

(2) 学校選択制の理解度

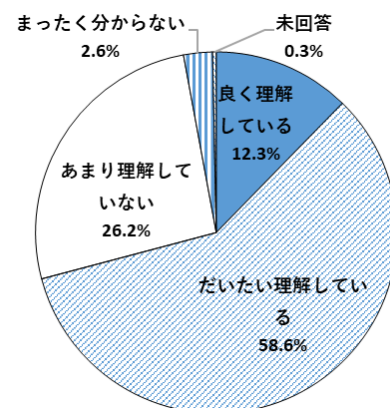
Q 学校選択制を理解していますか。

・「良く理解している」「だいたい理解している」の合計が 82%となっており、H29 調査と比較して、11.1 ポイント増加しています。



n=117

H29



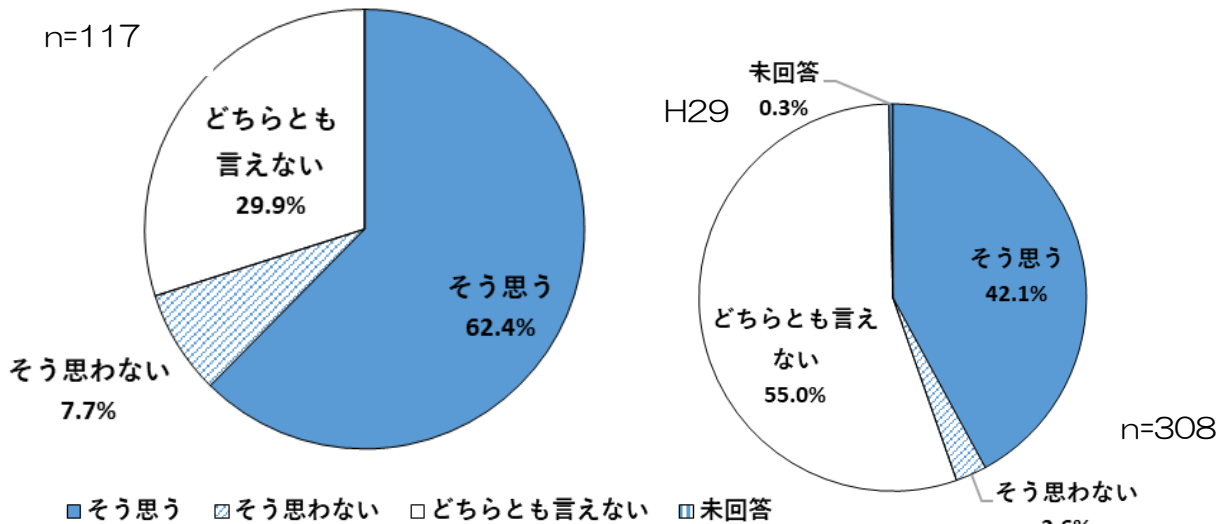
n=308

■良く理解している □だいたい理解している □あまり理解していない
■まったく分からない ■未回答

(3) 学校や教育に対する関心

Q 学校選択制を実施することにより，児童・保護者の学校や教育に対する関心や理解が高まっていると感じますか。

・「そう思う」が62.4%と最も高く，H29 調査と比較して，20.3 ポイント増加しています。

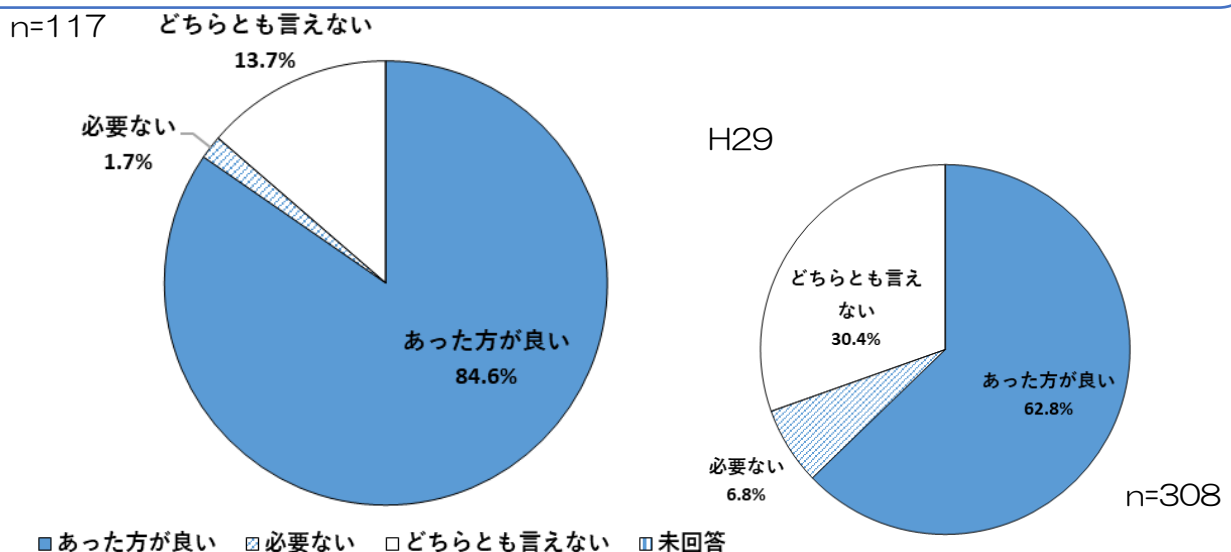


(4) 学校選択制の支持状況

Q 中学校を選択できる機会があることについて，どのようにお考えですか。

・「あった方が良い」が84.6%と最も高く，H29 調査と比較して，21.8 ポイント増加しています。また，中学校教員への調査の同じ質問（P54）と比較して，「あった方が良い」が12.6%高くなっています。

・「機会はいらない」は1.7%で，H29 調査と比較して，5.1 ポイント減少しています。



(5) 学校選択制の課題

Q 学校選択制度の課題だと思うことはなんですか。（3 つまで回答可）

・「風評（うわさ）等による選択が行われていること」が 64.1%と最も高く、次いで「学校の規模など学校格差につながること」の 53%で、「子供の通学上の安全確保に不安があること」の 48.7%の順となっています。

・「通学距離が長くなり，子どもに負担がかかること」は，中学校教員への調査の同じ質問（P54）と比較して，24.6%低くなっています。

